SONY

2-599-949-**01** (1)

# デジタルフォト プリンター

## DPP-FP50



**取扱説明書**

**お買い上げいただきありがとうございます。**

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

# ⚠警告　安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

6~10ページの注意事項をよくお読みください。

## 定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体が破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

## 万一異常が起きたら

**変な音・においがしたら、煙が出たら**

❶ **電源を切る**
❷ **電源プラグをコンセントから抜く**
❸ **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

### 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**⚠警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

**⚠注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

**注意を促す記号**

火災

感電

注意

指挟み

**行為を禁止する記号**

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

**行為を指示する記号**

指示

プラグをコンセントから抜く

## *電波障害自主規制について*

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ACアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

各種ＣＤ、ＴＶ映像、画像等著作権の対象となっている著作物、その他あなたが撮影、制作した映像以外のものを複製、編集、印刷することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物、編集物、印刷物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を越えて複製、編集、印刷や、複製物、編集物、印刷物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。また、本機においての写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することになりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。

なお、実演、興行、展示物の中には撮影を限定している場合がありますのでご注意ください。

### 記録内容の保証はできません

万一、本製品の不具合により、プリントや記録ができなかった場合、および記録内容が破損または消去された場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

### バックアップのおすすめ

万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

### 商標について

- VAIO はソニー株式会社の商標です。
- Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。
- “Memory Stick“（“メモリースティック“）、“ ”、“MagicGate Memory Stick”（“マジックゲート メモリースティック“）、"Memory Stick Duo“（“メモリースティックデュオ“）、“Memory Stick PRO“（“メモリースティック PRO“）、“Memory Stick-ROM“ （“メモリースティック-ROM“）は、ソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate”（"マジックゲート")はソニー株式会社の商標です。
- 本ソフトウェアの日本語変換は、オムロンソフトウェア（株）のモバイルWnnを使用しています。

  "Mobile Wnn" © OMRON SOFTWARE, Co. LTD., 1999-2001 All Rights Reserved
- True Typeフォントのラスタライズ処理は、FreeType Teamのソフトウェアをベースにしています。

- 本ソフトウエアの一部は、Independent JPEG Group の研究成果を使用しています。
- Libtiff

  Copyright © 1988-1997 Sam Leffler

  Copyright ©1991-1997 Silicon Graphics, Inc.
- Lib png

  Copyright © 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

  Copyright © 1996, 1997 Andreas Dilger

  Copyright © 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson
- Zlib

  ©1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler
- 本製品はフジフイルム製ソフトウエア「Exif Toolkit For Windows Ver.2.4 (Copyright © 1998 FUJI PHOTO FILM CO., LTD. All rights reserved)」を使用しています。Exif はJEITA(電子情報技術産業協会)が規定するデジタルスチルカメラ用イメージファイルフォーマット標準規格です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

# 目次

## プリンターの表示窓を使ってプリントする（LCD表示モード）



## いろいろなプリントを楽しむ（テレビ出力モード）



## PictBridge対応のカメラからプリントする（PictBridgeモード）



## パソコンからプリントする（PCモード）



## 困ったときは



## その他

# ⚠警告

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

## 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

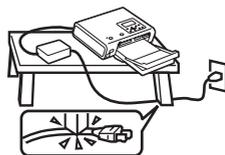
## 内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを開けたり改造すると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

## 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり､引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

## 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所では使わない

火災や感電の原因となります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

## ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因になることがあります。

## 電源コードのプラグ及びコネクターは突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

## 指定の AC アダプター以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

# ⚠注意

**下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

## 雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグに触れない

落雷すると、誘電雷により、火災や感電の原因となります。

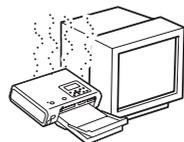
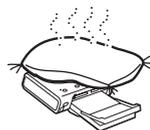
## 不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置•取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

禁止

## 通風孔をふさがない

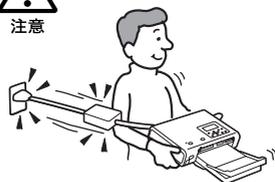
通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から10cm以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物(じゅうたんや布団など)の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

## 幼児の手の届かない場所に置く

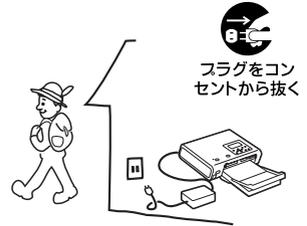
内部に手を入れると、挟まれてけがをしたり、温度の高い部分にさわってやけどをすることがあります。お子さまがさわらないようにご注意ください。

## 移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

## ⚠注意

**下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

### 長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

### 本体を他の機器と一緒に積み重ねない

本体を他のAV機器などと一緒に積み重ねて設置しないでください。落ちたりして、けがや故障の原因となります。

### お手入れの際は、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

### 本体の上に乗らない、重いものを乗せない

落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

### 本体内部の部品をさわらない

機構部品により、けがの原因となることがあります。
また、高温になった部品にさわると、火傷の原因となることがあります。

### CD-ROMについて

同梱されているCD-ROMを音楽用CDプレーヤーにかけないでください。耳に障害を負う恐れや、スピーカー、イヤホン等を破損する恐れがあり、故障の原因になることがあります。

## ⚠注意

**下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

### コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。
充分注意して接続•配置してください。

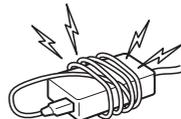
### 電源コード、ペーパートレイ挿入ドア、カートリッジカバー、ペーパートレイなどを持って本体を持ち上げない

落ちたり壊れたりして、けがの原因になることがあります。

### 指定された電源コードや接続ケーブルを使う

この説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

### 電源コードや接続ケーブルを AC アダプターに巻き付けない

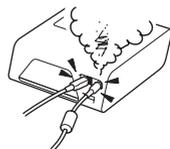
断線や故障の原因となることがあります。

### 通電中の本機や AC アダプターに長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

### 本機や AC アダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

### コネクターはきちんと接続する

- コネクターの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート(短絡)して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクターはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。

## 電池についての安全上のご注意とお願い

**漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。**

**万一、電池の液が漏れたときは** ➡

- すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。
- 目に入った場合は、こすらずにすぐに水道水など多量のきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療をうけてください。
- 液を口に入れたり、なめた場合、すぐに水道水で口を洗浄し医師に相談してください。
- 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

### ⚠危険

- 火の中に入れない。電子レンジやオーブンで加熱しない。
- ショートさせたり、分解、改造しない。
- コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや炎天下、高温になった車の中などで放置したり、充電(乾電池型充電式電池・バッテリーパック)したりしない。

### ⚠警告

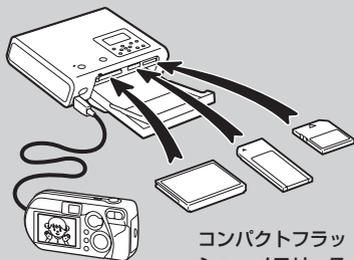
- 指定された種類の電池を使用する。
- ハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- 水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。
- 乾電池やボタン型電池は充電しない。
- 幼児の手の届かない所に置き、口に入れないよう注意する。万一飲み込んだ場合は、ただちに医者に相談してください。

### ⚠注意

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておく。

# こんなことができます

## カメラやカードの画像をプリントできます

22～24ページ

デジタルカメラなどの外部機器

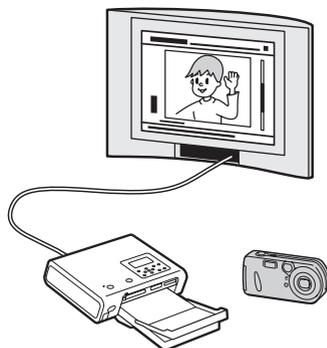
コンパクトフラッシュ、メモリースティック、SDカード

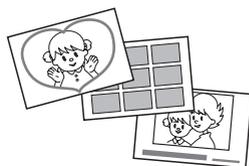
## 表示窓を見ながらプリントする

31～34ページ

## テレビにつないでプリントする

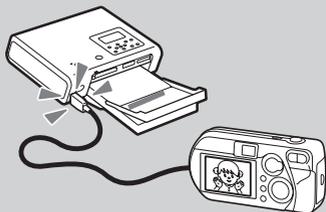
画像を選んでプリントする

25ページ

いろいろなプリントを作る

35～54ページ

プリントの調整、設定を変える

55～63ページ

## PictBridge対応カメラからプリントする

64ページ

## パソコンからプリントする

65～78ページ

次のページにつづく

## こんなプリントを作れます

基本のプリント
→ 26ページ

オートプリント
(INDEX/DPOF/ALL)
→ 29, 33ページ

拡大、縮小、移動、
回転→ 36ページ

文字入力
→ 39ページ

自由レイアウト
プリント
→ 47ページ

カレンダープリン
ト→ 51ページ

カードプリント
→ 52ページ

分割写真
→ 54ページ

### 美しい印刷をするための高画質機能

■業務用プリンターで培った高性能印刷蓄熱補正エンジンにより、くっきりした印刷を実現します。

■スーパーコート2により、プリントの高保存性、耐水性、耐皮脂性を実現します。

■オートファインプリント3（→ 56ページ）により、自動的に画像を解析、補正します。

■Exif 2.21（Exif Print） Exif Print
（→ 56ページ）
Exif2.2規格対応のデジタルカメラの画像を、撮影情報を使用して最適な画像に調整してプリントします。

■画質の調整、補正機能（→ 37ページ）
赤目補正、明るさ、色あいなどの補正により、高画質の印刷を実現しています。

### 印刷を楽しむための快適な操作環境

■高速CPUの搭載により、画像の表示、印刷処理時間を大幅に短縮しました。

■20枚連続プリント用ペーパートレイ
（→ 18ページ）

### 様々な用途に対応する多彩な印刷機能

■選べるプリントサイズ（ポストカードサイズ／Lサイズ）（→ 15ページ）

■選べるフチ無し/フチ有りプリント
（→ 56ページ）

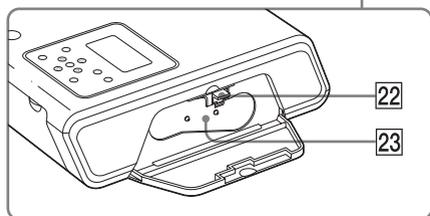
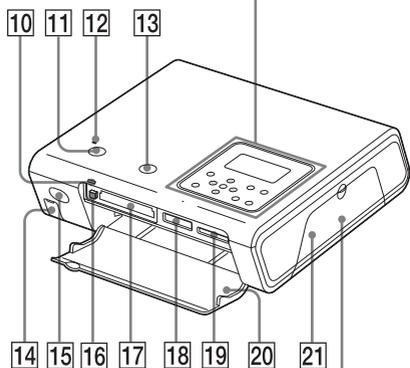
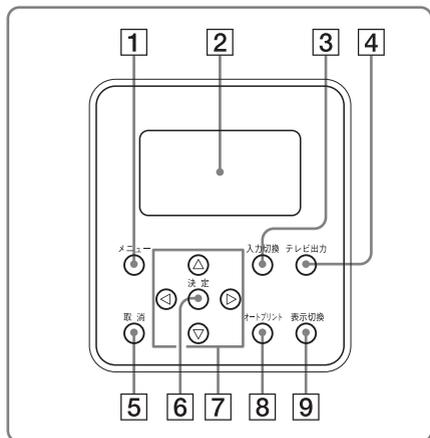
■スライドショー（→ 58ページ）

■付属のソフトウェアを使って、パソコンから簡単にプリントができます。
（→ 65ページ）

■PictBridge対応のデジタルカメラから簡単にプリントができます。
（→ 64ページ）

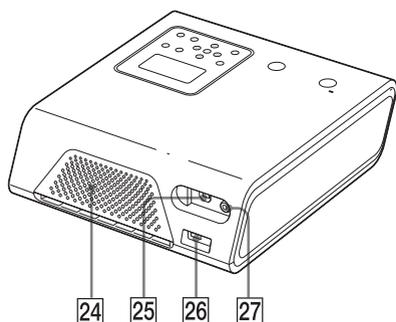
■マスストレージ対応*の外部機器から簡単にプリントすることができます。
（→ 24ページ）
（*すべてのマスストレージ対応機器の動作を保証するものではありません。）

# 各部のなまえ

詳しい説明は、（　）内のページをご覧ください。

## 本体

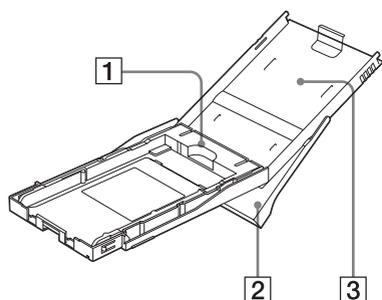
1 メニューボタン（35、46、55、58、59、60、62ページ）
2 表示窓（31ページ）
3 入力切換ボタン（25、31ページ）
4 テレビ出力ボタン（25、31ページ）
5 取消ボタン（29、32ページ）
6 決定ボタン
7 方向（△/▽/◁/▷）ボタン
8 オートプリントボタン（29、33ページ）
9 表示切換ボタン（27ページ）
10 アクセスランプ（23ページ）
11 電源ボタン（25ページ）
12 電源ランプ（25ページ）
13 プリントボタン（27、29、32ページ）
14 PictBridge/CAMERA端子（24、64ページ）
15 リモコン受光部（20ページ）
16 コンパクトフラッシュカード取り出しボタン（23ページ）
17 コンパクトフラッシュカードスロット（23ページ）
18 "メモリースティック"／"メモリースティックデュオ"スロット（23ページ）
19 SDカードスロット（23ページ）
20 メモリーカードスロット／ペーパートレイカバー（18、23ページ）
21 プリントカートリッジカバー（16ページ）
22 プリントカートリッジ取り出しレバー（17ページ）
23 プリントカートリッジ（16ページ）（別売り）



次のページにつづく

**24 通風孔**

**25 USB端子（67ページ）**
PCモードで本機をお使いになるとき、パソコンのUSB端子と接続します。

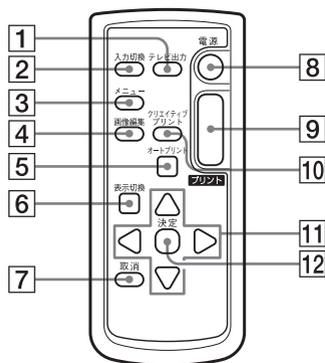
**26 DC IN端子（21ページ）**
付属のACアダプターのプラグを差し込み、電源コードでACアダプターと家庭用電源を接続します。

**27 VIDEO OUT（映像出力）端子（22ページ）**
テレビ出力モードで本機をお使いになるとき、テレビの映像入力と接続します。

## ペーパートレイ

**1 トレイアダプター（18ページ）**
Lサイズのプリントペーパーを使用時にだけ、取り付けます。

**2 排紙トレイ（18ページ）**

**3 トレイカバー（18ページ）**

## リモコン

**1 テレビ出力ボタン（25、31ページ）**

**2 入力切換ボタン（25、31ページ）**

**3 メニューボタン（55、58、59、60、62ページ）**

**4 画像編集ボタン（35ページ）**

**5 オートプリントボタン（29、33ページ）**

**6 表示切換ボタン（27ページ）**

**7 取消ボタン（29、32ページ）**

**8 電源ボタン（25ページ）**

**9 プリントボタン（27、29、32ページ）**

**10 クリエイティブプリントボタン（46ページ）**

**11 方向（△/▽/◁/▷）ボタン**

**12 決定ボタン**

## 1 付属品を確認する

梱包箱から取り出したら、次の付属品がそろっているか確認してください。

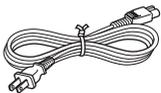
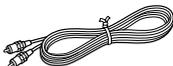
**ペーパートレイ（1個）**

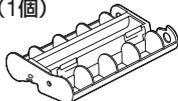
**リモコン（1個）**

ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

ACアダプター AC-S24V1（1個）

**電源コード*（1本）**

*付属の電源コードは AC100V専用です。

**ビデオ接続ケーブル（1本）**

**フェライトコア（1個）**

**クリーニングカートリッジ（1個）**

CD-ROM（1枚）

– Sony DPP-FP50 Printer Driver Software for Windows® XP Professional、Windows® XP Home Edition、Windows® XP Media Center Edition、Windows® 2000 Professional、Windows® Millennium Edition、Windows® 98 Second Edition
– PictureGear Studio Ver.2.0

- お試しプリントパック（1パック）
- 取扱説明書（1部）
- クイックスタートガイド（1部）
- カスタマー登録のご案内（1部）
- 保証書（1部）
- ソニーご相談窓口のご案内（1部）
- ソフトウェア使用許諾契約書　（１部）

## 2 プリントパックを用意する

プリントするためには、プリントパックが必要です。付属のお試しプリントパックにはポストカードサイズの10枚用プリントカートリッジ1巻とプリントペーパー10枚が入っています。

### プリントペーパーのサイズ

プリントペーパーには次の2通りのサイズがあります。

- **ポストカードサイズ**
  0（101.6 x 152.4ミリ*）
- **Lサイズ**（89 x 127ミリ*）

(*フチ無しの最大プリントサイズです。）

### 本機で使用できるプリントパック

プリントしたいサイズによって以下の別売りプリントパックをお使いください。

**ポストカードサイズ**➡SVM-F40P

- ポストカードサイズフォトペーパー20枚入り2パック
- 40枚用プリントカートリッジ1巻

**Lサイズ**➡SVM-F40L

- Lサイズフォトペーパー20枚入り2パック
- 40枚用プリントカートリッジ1巻

次のページにつづく

プリントパックは、「ソニー製品お取り扱いのお店」または「Sony Style」(http://www.jp.sonystyle.com)でお買い求めいただけます。

**プリントパック使用上のご注意**

- プリントカートリッジとプリントペーパーは同じ箱に入っているものをセットでお使いください。セットでご使用にならないと、プリントできないことがあります。
- プリントペーパーは、印刷のない面がプリント面です。プリント面に指紋やほこりが付着しますと、きれいにプリントできないことがありますので、プリント面に手を触れないように注意してお取り扱いください。
- **プリント前にプリントペーパーを折り曲げたり、プリントペーパーのミシン目を切り離したりしないでください。**
- **プリンター故障の原因になりますので、一度使用したプリントペーパーでプリントしたり、リボンを巻き戻してプリントしないでください。**
- プリントカートリッジは分解しないでください。
- プリントカートリッジからリボンを引き出さないでください。

**プリントパック保存時のご注意(きれいなプリントのために)**

- 使用途中で本体から取り出して長期保存する場合は、ほこりが付かないように製品の入っていた袋などに入れて保存してください。
- 温度の高いところ(30℃以上)、湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところでの保存は避けてください。
- 製造後2年以内のご使用をお勧めします。

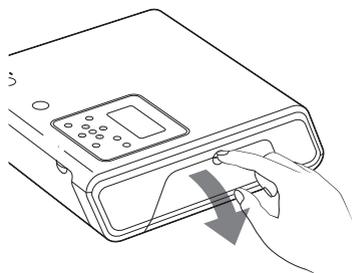
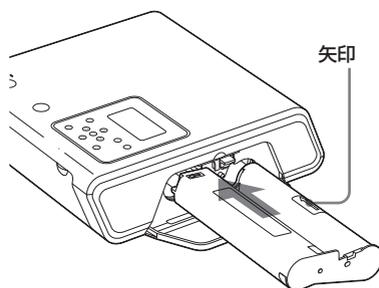
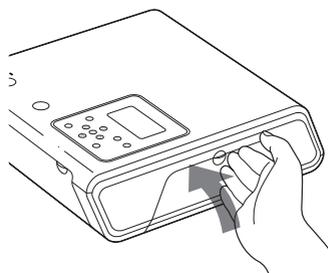
**プリント面保存上のご注意**

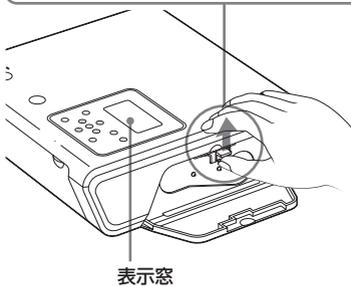
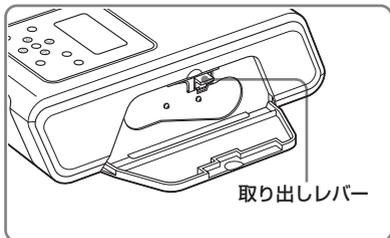
- プリント面の表面に、可塑剤を含むプラスチック消しゴムやデスクマットなどを長時間触れさせると変退色することがあります。

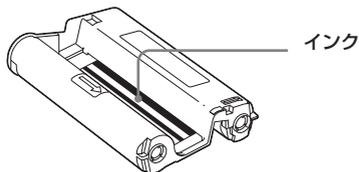
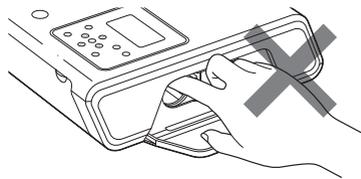
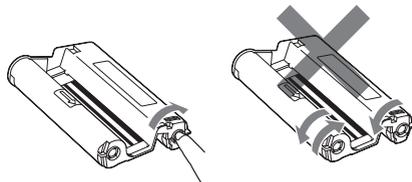
**その他のご注意**

- あなたがプリントしたものは、個人として楽しむ場合などを除いて、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

## 3 プリントカートリッジを入れる

**1** カートリッジカバー手前に開ける。

**2** プリントカートリッジを矢印の方向にカチッとロックするまで奥へ差し込む。

**3** カートリッジカバーを閉める。

## プリントカートリッジを取り出すには

プリントカートリッジを使い切ると、カートリッジエラー表示（）が本体の表示窓に表示されます。カートリッジカバーを開け、緑色の取り出しレバーを上に押して、プリントカートリッジを取り出します。

**ご注意**

- プリントペーパーと同じ箱に入っているプリントカートリッジを使用してください。
- プリントカートリッジのインクに触れないでください。インクに指紋やほこりが付着すると、きれいにプリントできないことがあります。

- 熱くなっていることがありますので、カートリッジカバーの内部に手を入れないでください。

- リボンを巻き戻してプリントしないでください。正常なプリント結果が得られないばかりか故障の原因になります。
- プリントカートリッジがうまく入らないときは、いったんプリントカートリッジを取り出してから、入れ直してください。リボンがたるんでうまく入らない場合のみ、カートリッジのスプールを矢印の方向に押しながら回してリボンのたるみを取ってください。

- プリント中はプリントカートリッジを取り出さないでください。

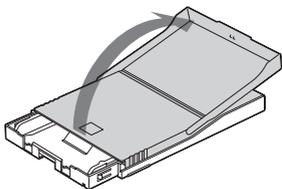
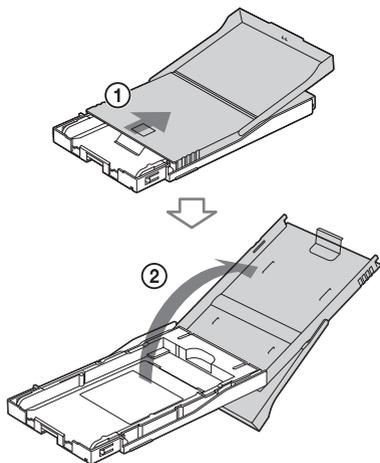
**保存上のご注意**

- 温度や湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところでの保存は避けてください。
- 使用途中で本体から取り出して保存する場合は、プリントカートリッジの入っていた袋などに入れて保存してください。

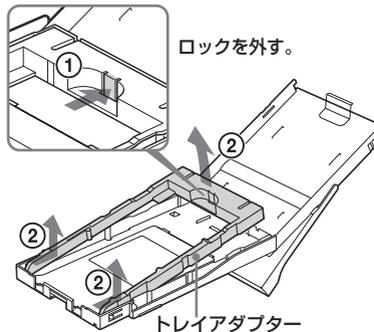


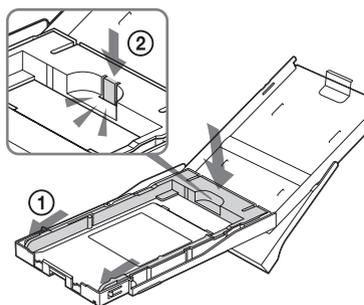
次のページにつづく

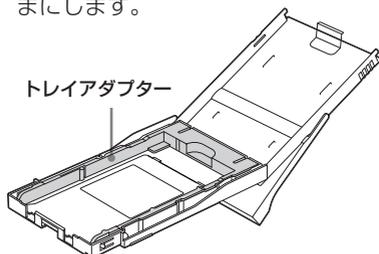
## 4 プリントペーパーを入れる

**1** 排紙トレイを開ける。

**2** ペーパートレイカバーを給紙方向と逆の方向にスライドさせてから（①）、上に開ける（②）。

**3** お使いになるペーパーのサイズに合わせてトレイアダプターをセットする。

■ **ポストカードサイズの場合**

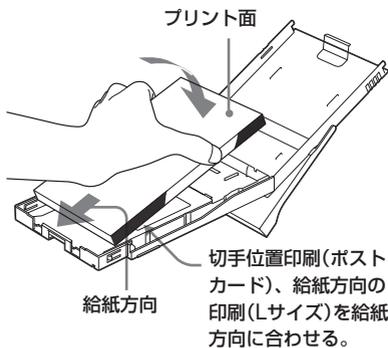
ペーパートレイとトレイアダプターの後部をつまんでアダプターのロックを外し（①）、トレイアダプターを上に持ち上げて外します（②）。

**トレイアダプターを取り付けるには**

トレイアダプターのツメをトレイ先端の穴に合わせて（①）、アダプター後部のツメがロックする位置まで下ろします（②）。

■ **Lサイズの場合**

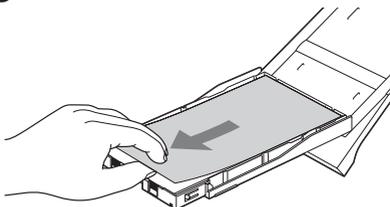
トレイアダプターは取り付けたままにします。

## 4 ペーパーをトレイに入れる。

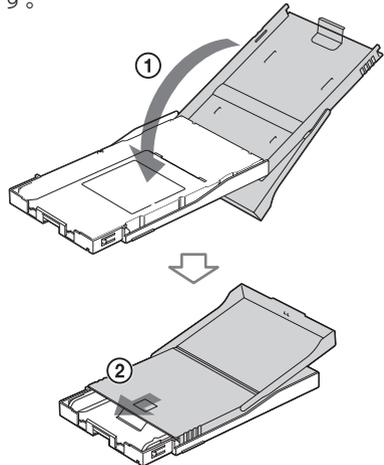
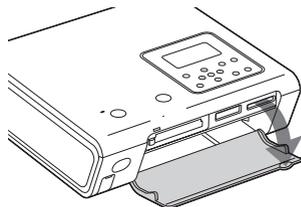
ペーパーをよくさばいてから、ペーパーのプリント面（何も印刷されていない面）を上にしてセットします。

- ポストカードサイズの場合: ペーパー裏面の切手位置の印刷を、給紙方向に合わせて入れます。
- Lサイズの場合：裏面の給紙方向の印刷の向きを給紙方向に合わせて入れます。

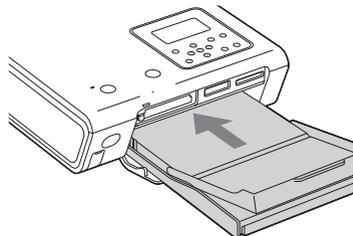
保護シートごとトレイに入れます。
20枚まで入れられます。

**ご注意**

プリント面（何も印刷されていないつやのある面）には触れないようにしてください。

## 5 保護シートを抜き取る。

## 6 ペーパートレイカバーを閉めて（①）、給紙方向にスライドさせる（②）。

排紙トレイは開いたままにしておきます。

## 7 ペーパートレイカバーを手前に開ける。

## 8 トレイを本機に差し込む。

固定するまでしっかりと奥まで差し込んでください。

次のページにつづく

プリント中にプリントペーパーがなくなると、プリントペーパーエラー表示（ ）が本体の表示窓に表示されます。ペーパートレイを抜き、ペーパーを補充してください。

**ご注意**

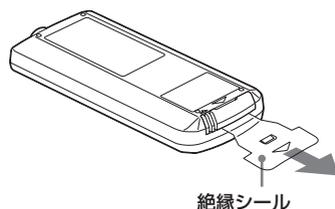
- プリント中は、ペーパートレイは抜かないでください。
- プリントする前のプリントペーパーについて、故障を避けるために、以下の点にご注意ください。
  - 字を書かない。（プリント後に油性ペンで記入してください。ワープロは使えません。）
  - 切手やシールを貼らない。
  - 折ったり曲げたりしない。
  - プリントペーパーをトレイに追加する場合、総量が20枚を超えないようにする。
  - 違う種類のプリントペーパーをトレイに重ねて入れない。
  - 一度使用したプリントペーパーでプリントしない。（同じ画像を重ねてプリントしても、濃くなりません。）
  - 指定以外のプリントペーパーは使用しない。
  - 一度白紙で排出されたプリントペーパーでプリントしない。

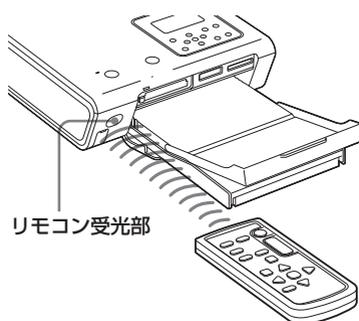
**保存上のご注意**

- プリント面どうしを重ね合わせて保存したり、プリント面を塩化ビニールや可塑剤が入ったプラスチックや消しゴムに長時間触れさせないでください。変色または退色することがあります。
- 温度や湿度の高いところ、埃の多い所、直射日光のあたるところでの保存は避けてください。
- 使用途中で本体から取り出して保存する場合は、プリントペーパーの入っていた袋などに入れて保存してください。

# 5 リモコンを準備する

**1 リモコンの絶縁シールを抜く。**

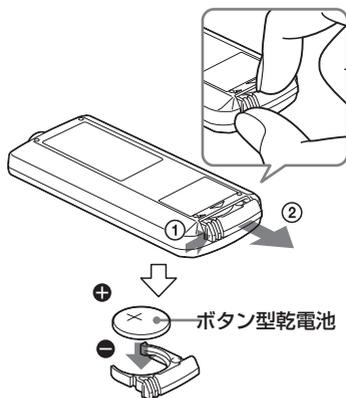
ボタン型リチウム電池の絶縁シールが外れ、リモコンが使えるようになります。

**2 プリンター本体のリモコン受光部にリモコンを向けてボタンを押す。**

リモコンのボタンは本体の同名のボタンと同じようにお使いになれます。

**ご注意**

リモコンの取消ボタンでは、長押しは働きません。

### 電池を交換するには

**1** 電池ケースのタブを内側に押しながら、溝に爪をかけて引き出す。

**2** ボタン型リチウム電池を取り出し、新しいボタン型リチウム電池を+面を上にして入れる。

**3** 電池ケースを本体に戻す。

「カチッ」と音がするまで差し込みます。

**リモコンについてのご注意**

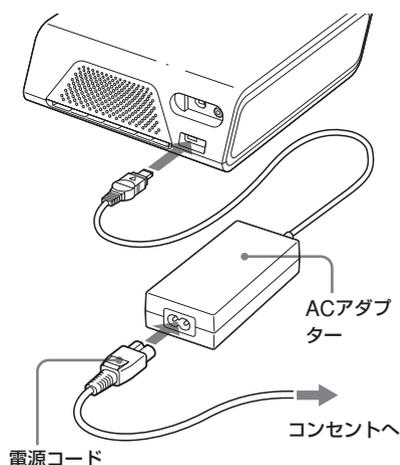
- リモコンには、ボタン型リチウム電池(CR2025)が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明機具の強い光が当たらないようにしてください。リモコンの操作ができないことがあります。

## 6 電源をつなぐ

**1** 電源コードのプラグをACアダプターに差し込む。

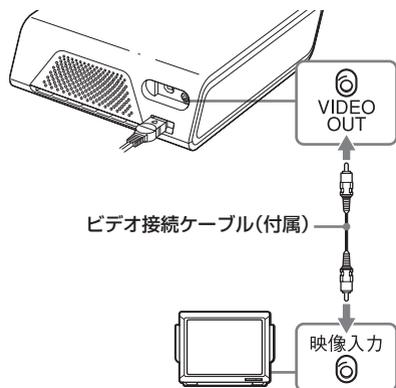
**2** 電源コードのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。

**3** ACアダプターのプラグを、本機のDC-IN端子に差し込む。

電源ランプが赤く点灯します。

**ご注意**

- ACアダプターは、お手近なコンセントを使用してください。使用中、不具合が生じた時は、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- 使い終わったら、ACアダプターを本機のDC-IN端子と壁のコンセントから取り外してください。
- プリント中、プリントペーパーが何度か排紙口から出てきます。 ACアダプターや電源コードで排紙口をふさがないようにご注意ください。

# テレビとつなぐ

テレビに画像を映しながらプリントする場合は、テレビの映像入力端子を本機のVIDEO OUT（映像出力）端子につなぎます。

**ご注意**

- 本機とテレビを接続する前に、本機とテレビの電源を切ってください。
- 付属のビデオ接続ケーブルをお使いにならない場合は、3m未満の長さのビデオ接続ケーブルをお使いください。
- 本体の表示窓で操作をする場合、PictBridge対応のデジタルカメラから操作してプリントする場合、またはパソコンにつないでお使いになる場合は、テレビへの接続は必要ありません。
- 本機の映像出力端子をテレビ以外のビデオ機器や他の機器の端子とつなぐと、正常に動作しないことがあったり、大きなノイズ音を発生することがありますのでおやめください。
- プリント中、プリントペーパーが何度か排紙口から出てきます。ビデオ接続ケーブルで排紙口をふさがないようにご注意ください。

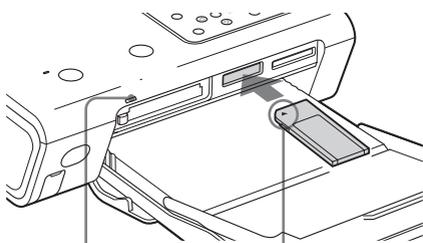
# カードを入れる

"メモリースティック"、コンパクトフラッシュカード、SDカード等のメモリーカードの画像をプリントするには、プリントしたい画像の入ったカードをそれぞれのスロットに入れます。
なお、本機でお使いになれるメモリーカードの種類、ご使用上のご注意等については、96～98ページをご覧ください。

**メモリーカードご使用にあたってのご注意**

- メモリーカードを無理に押し込んだり引き抜いたりしないでください。本機およびメモリーカードが破損することがあります。
- アクセスランプが点滅中に、メモリーカードを抜いたり、電源を切らないでください。メモリーカード内のデータが破損する場合があります。
- メモリーカードのデータは、必ずバックアップを取ってください。データの破損、消失については責は負いかねます。
- メモリーカードの向きを確認してセットしてください。セットする向きを間違えると、メモリーカードスロットが破損する恐れがあります。
- メモリーカードの種類を確認して、指定のスロットに挿入してください。指定と違うスロットに挿入した場合、メモリーカードスロットを破損したり、挿入したメモリーカードが取り出せなくなる恐れがあります。

## "メモリースティック"を入れる

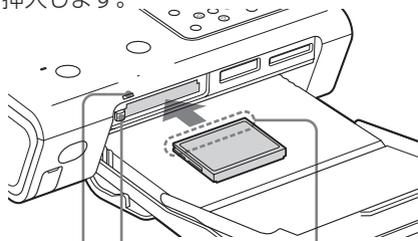
"メモリースティック"または"メモリースティックデュオ"を、"メモリースティック"／"メモリースティックデュオ"スロットに「カチッ」というまで押し込みます。

**アクセスランプ**
メモリーカードにアクセス中に点滅します。

**◀が左上にくるようにして挿入する。**

"メモリースティックデュオ" も同様に、アダプターなしで、◀が左上にくるようにして挿入します。

**"メモリースティック"を取り出すには**
"メモリースティック"を軽く奥に押し、出てきたところをゆっくり取り出します。

## コンパクトフラッシュカードを入れる

コンパクトフラッシュカードを、コンパクトフラッシュカードスロットの奥まで挿入します。

**取り出しボタン**

**アクセスランプ**
メモリーカードにアクセス中に点滅します。

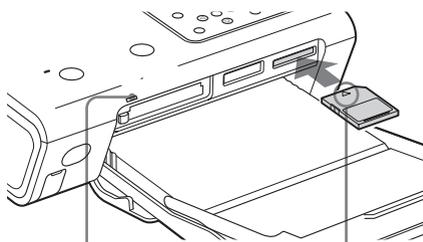
**長い面の端子のほうから挿入する**

**コンパクトフラッシュカードを取り出すには**
コンパクトフラッシュカード取り出しボタンを押し、カードが出てきたら取り出します。

**ご注意**

コンパクトフラッシュカードの取り出しボタンが飛び出していると、トレイカバーが閉まりません。トレイカバーを閉めるときは、取り出しボタン押し込み、飛び出していないことを確認してください。

## SDカードを入れる

SDカードを、SDカードスロットの奥までしっかり挿入します。

**アクセスランプ**
メモリーカードにアクセス中に点滅します。

**切り欠け部が右にくるようにして◀の方向に挿入する。**

**SDカードを取り出すには**
SDカードを軽く奥に押し、出てきたところをゆっくり取り出します。

**ご注意**

miniSDカードをお使いになるときは、専用のminiSDカードアダプターを使用してください。miniSDカードのまま各カードスロットに入れると、取り出せない恐れがあります。

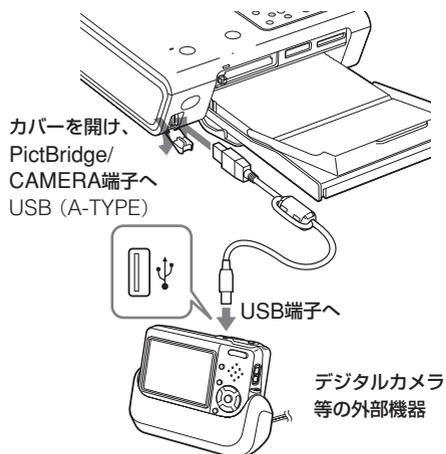
# カメラなどの外部機器をつなぐ

デジタルカメラなどの外部機器の画像をプリントするには、デジタルカメラなどの外部機器を本機のPictBridge/CAMERA端子に接続します。マスストレージ対応のカメラ等の外部機器を接続できます。

**1 デジタルカメラや外部機器の設定をマスストレージ接続モードにする。**

接続前に必要な設定や操作方法は、デジタルカメラや外部機器によって異なります。デジタルカメラや外部機器に付属の取扱説明書をご覧ください。（サイバーショットをご使用の場合は、USB接続を「標準」に設定します。）

**2 デジタルカメラや外部機器を本機のPictBridge/CAMERA端子に接続する。**

デジタルカメラや外部機器に付属のUSBケーブルで接続します。

**ご注意**

- 接続に必要なUSBケーブルは、お使いになる外部機器のUSB端子のタイプによって異なります。本機側のプラグが、A-TYPEのUSBケーブルをお使いください。
- 市販のUSBケーブルをお使いになる場合は、長さ3m未満のA-TYPEのUSBケーブルをお使いください。
- すべてのマスストレージ対応機器の動作を保証するものではありません。
- 外部機器のアクセスランプが点滅中に、USBケーブルを抜いたり、電源を切らないでください。外部機器内のデータが破損する場合があります。データの破損、消失については責は負いかねます。

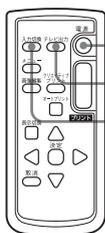
# 画像をテレビ画面に表示する

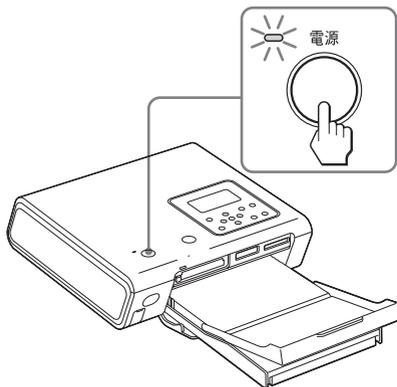
プリントする画像を確認するために、メモリーカードや外部機器の画像をテレビ画面に表示する方法を説明します。

**始める前に**

「準備する」の1から6の準備（15～21ページ）の他に、以下の準備が必要です。

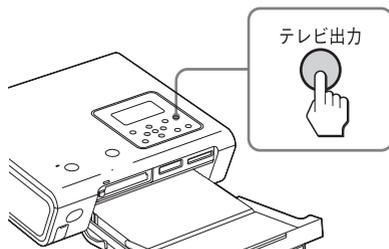
- 「テレビとつなぐ」（22ページ）、
- 「カードを入れる」（22～23ページ）、または「カメラなどの外部機器をつなぐ」（24ページ）

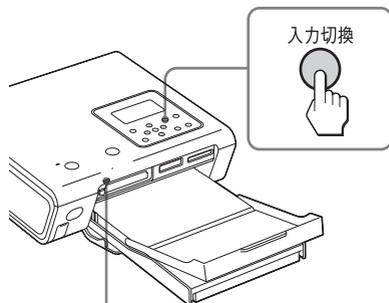
**リモコンで操作するには**

**1　電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。**

電源ランプが緑に点灯します。

**2　テレビの電源を入れ、入力切り換えを「ビデオ」にする。**

本体の表示窓に「テレビ出力モードに設定されています。」と表示され、画面にメモリーカードまたは外部機器の画像が表示されます。

**テレビ画面に「LCD表示モードに設定されています。」と表示される場合は**

テレビ出力ボタンを押して、テレビ出力モードに切り換えてください。

**3　入力切換ボタンを押してプリントしたい画像の入ったメモリーカードまたは外部機器を選ぶ。**

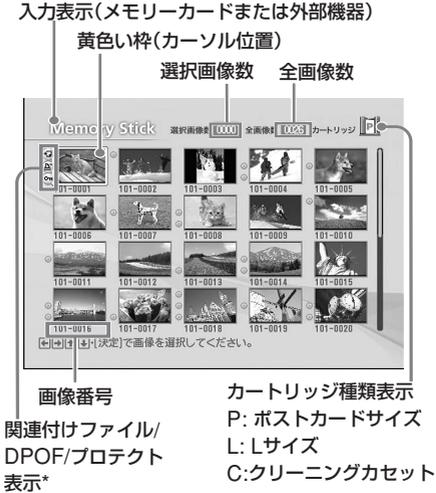
押す度に［MEMORY STICK］("メモリースティック")、［SD Card］（SDカード）、［External Device］（外部機器）、［CompactFlash］（コンパクトフラッシュカード）が切り換わります。（［External Device］は、接続されていない場合は表示されません。）

**アクセスランプ**
メモリーカードにアクセス中に点滅します。

次のページにつづく

テレビ画面に「アクセス中」と表示され、メモリーカードまたは外部機器の画像が一覧表示されます（画像一覧）。

**画像一覧**

P: ポストカードサイズ
L: Lサイズ
C:クリーニングカセット

関連付けファイル/DPOF/プロテクト表示*

*関連付けファイル/DPOF/プロテクト表示

- 関連付けファイル表示：
  表示されている画像のほかにEメール用の小さな画像や動画などの関連ファイルがあるときに表示されます。
- DPOF表示：
  画像がデジタルカメラなどでDPOFによってプリント予約されているときに表示されます。
- プロテクト表示：
  画像がデジタルカメラなどでプロテクト指定されているときに表示されます。

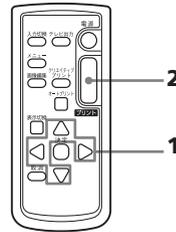
**他のページを表示するには**

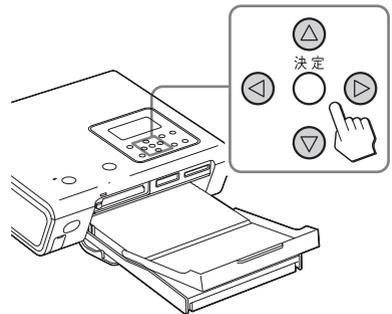
- 次ページを表示するには、▽ボタンで一番下の列に黄色い枠を移動して▽ボタンを押します。
- 前ページを表示するには、△ボタンで一番上の列に黄色い枠を移動して△ボタンを押します。

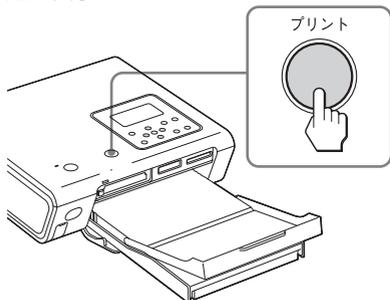
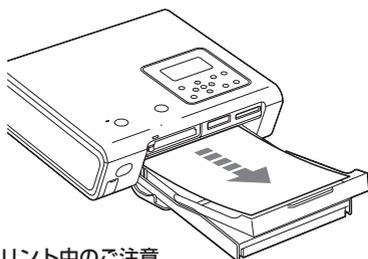
# 画像を選んでプリントする

## 画像を1つ選んでプリントする

メモリーカードまたは外部機器の画像を選び、1枚の画像をプリントする方法を説明します。

**リモコンで操作するには**

フチ無し基本のプリント

**1** ◁/▷/△/▽ボタンでプリントしたい画像に黄色い枠を移動する。

## 2 プリントボタンを押す。

選んだ画像のプリントが始まります。プリント中はテレビ画面にプリント経過が表示されます。

## 3 プリントが終わり、プリントペーパーがペーパートレイに出てきたら取り出す。

**プリント中のご注意**

- アクセスランプが点滅しているとき、または[アクセス中]のメッセージが表示中は、絶対にメモリーカードや外部機器の抜き差しはしないでください。
- プリント中に本機を動かしたり、電源を切ったりしないでください。プリントカートリッジが取り出せなくなったり、紙づまりの原因になります。万一電源を切ってしまったときは、ペーパートレイを装着したまま電源を入れなおし、プリント途中のペーパーが残っている場合は、ペーパーを取り除いてから、操作を手順1からやり直してください。
- プリント中はプリントペーパーが一時的に何度か出てきます。ペーパーに触ったり、引っ張ったりしないでください。
- プリント時、本機後面のスペースはなるべく広くとるようにしてください。

## プリントする前に画像を確認する（印刷プレビュー）

プリントする前に選んだ画像を大きく表示して確認することができます。
表示したい画像に黄色い枠を移動し、表示切換ボタンを押します。選んだ画像が大きく表示されます（**プレビュー画面**）。

**プレビュー画像**

次のページにつづく

### 他の画像を表示するには

◁/▷/△/▽ボタンを押します。画像一覧での左右上下の画像が表示されます。

### プレビューした画像をプリントするには

プリントボタンを押します。

**ご注意**

画像一覧でプリント枚数が設定されている画像がある場合も、プレビュー表示されている画像だけがプリントされます。複数の画像をプリントするには、画像一覧画面に戻ってから操作してください。

### 画像一覧画面に戻るには

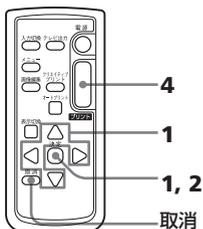
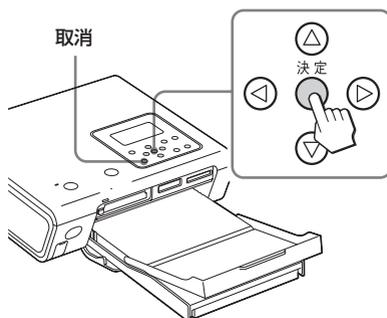
表示切換ボタンを押します。

**ご注意**

画面に表示される画像と実際にプリントされる画像では、画質または色が異なる場合があります。これは、発色方法の違いやテレビ個々の特性の違いによるもので、画面に表示される画像はあくまで目安とお考えください。

## 複数の画像をプリントする

プリント枚数を設定して複数の画像を、プリントすることができます。

### リモコンで操作するには

**1** **◁/▷/△/▽ボタンでプリントしたい画像に黄色い枠を移動し、決定ボタンを押す。**

プリント枚数表示が［1］になります。

**2** **決定ボタンまたは取消ボタンを押して、プリント枚数を設定する。**

プリント枚数は、20枚まで設定することができます。

- プリント枚数を1枚ずつ増やすには、決定ボタンを繰り返し押します。
- プリント枚数を1枚ずつ減らすには、取消ボタンを短く繰り返し押します。
- プリント設定を解除するには、取消ボタンを2秒以上押し続けます。（リモコンの取消ボタンでは、長押しは働きません。）

**3** **手順1と2を繰り返し、残りの画像を選択しプリント枚数を設定する。**

選択された画像はオレンジ色の枠で表示されます。

**画像を選び直すには**

◁/▷/△/▽ボタンで選択を取り消したい画像に黄色い枠を移動し、オレンジ色の枠が消えるまで取消ボタンを押します。

**4** **プリントボタンを押す。**

選択した画像のプリントが始まります。プリント中はテレビ画面にプリント経過が表示されます。

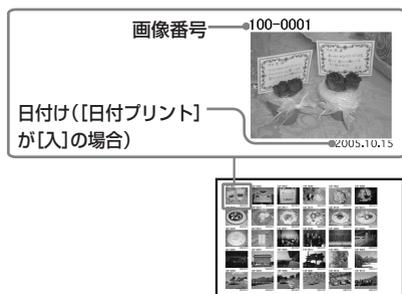
**途中でプリントを中止するには**

取消ボタンを押します。複数のプリントを行っている場合、現在プリント中の次からのプリントが取り消されます。

**5** **プリントが終わり、プリントペーパーがペーパートレイに出てきたら取り出す。**

# オートプリントをする（INDEX/DPOF/ALL）

メモリーカードまたは外部機器に保存されている画像をまとめてプリントすることを「オートプリント」といいます。
オートプリントには、次の3通りのプリント方法があります。

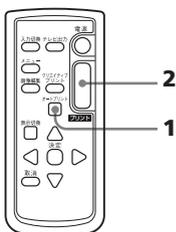
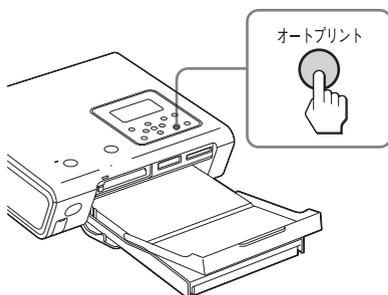
- **INDEXプリント**
  メモリーカードまたは外部機器内の全画像を分割画面でプリントできます。画像を確認するときに便利なプリントです。分割画面数は自動的に計算され、各画像は画像番号とともにプリントされます。

- **DPOFプリント**
  画像一覧画面で、プリントマーク（）の付いた画像（デジタルカメラなどでDPOF（Digital Print Order Format）でプリント予約された画像）を、表示順に予約された枚数、まとめてプリントできます。
- **ALLプリント**
  メモリーカードまたは外部機器内の全画像を、画像番号順に1枚ずつプリントすることができます。

とにかくプリントしてみる（テレビ出力モード）

次のページにつづく

**ご注意**

- デジタルスチルカメラなどでのプリント予約方法については、お使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- デジタルスチルカメラなどにはプリント予約に対応していない機種もあります。また、機種によっては本機では対応できない場合もあります。

### リモコンで操作するには

**1 オートプリントボタンを繰り返し押して、テレビ画面に［INDEX］、［DPOF］または［ALL］を表示する。**

プリント予定の画像が、オレンジ色の枠で表示されます。

**プリントしたくない画像の選択を解除するには（INDEX/ALLのみ）**

◁/▷/△/▽ボタンでプリントをしたくない画像に黄色い枠を移動し、取消ボタンを押します。

画像の選択が解除されます。

**ご注意**

DPOFを選んでいるときは、画像の選択は解除できません。

**2 プリントボタンを押す。**

プリントが始まります。

プリント中はテレビ画面にプリント経過が表示されます。

**3 プリントが終わり、プリントペーパーがペーパートレイに出てきたら取り出す。**

### 通常のプリントに戻すには

［INDEX］、［DPOF］、［ALL］のいずれも表示されなくなるまで、オートプリントボタンを繰り返し押します。

**ちょっと一言**

- プリントカートリッジの残量がプリント枚数よりも少ない場合も、継続して印刷できます。途中でガイドメッセージが表示されますので、指示に従ってプリントパックを入れ換えてください。（16ページ）
- ［画質の設定］メニュー(57ページ)で［日付プリント］が［入］に設定されているときは、撮影または保存年月日がプリントされます。

# 画像番号を選んでプリントする

本機の表示窓で操作内容を確認しながら、画像番号を指定してプリントする方法を説明します。

**画像番号を確認するには**

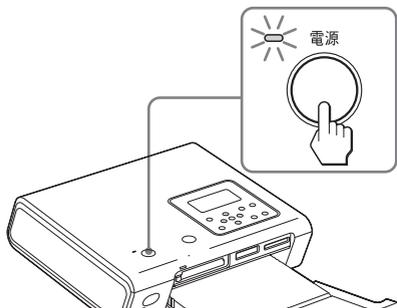
インデックスプリントを行うことで確認できます。また、テレビ出力モードでの画像一覧画面、またはお使いのデジタルカメラでも確認できます。

**始める前に**

「準備する」の1から6の準備（15～21ページ）の他に、以下の準備が必要です。

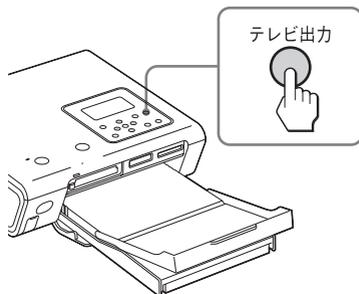
- 「カードを入れる」（22～23ページ）、または「カメラなどの外部機器をつなぐ」（24ページ）

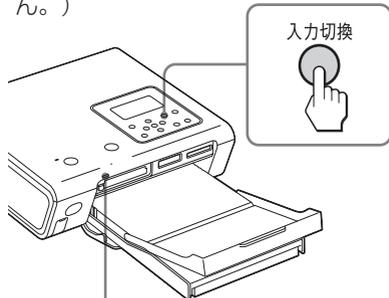
**1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。**

電源ランプが緑に点灯します。

**表示窓に「テレビ出力モードに設定されています。」と表示される場合は**

テレビ出力ボタンを押して、LCD表示モードに切り換えてください。

**テレビ出力モードに戻るには**

初期画面に戻ってからテレビ出力ボタンを押してください。

**2 入力切換ボタンを押して、プリントしたい画像の入ったメモリーカードまたは外部機器を選ぶ。**

押す度に表示窓の［MEMORY STICK］（"メモリースティック"）、［SD］（SDカード）、［External Device］（外部機器）、［CF］（コンパクトフラッシュカード）が切り換わります。（［External Device］は、接続されていない場合は表示されません。）

初期画面が表示されます。

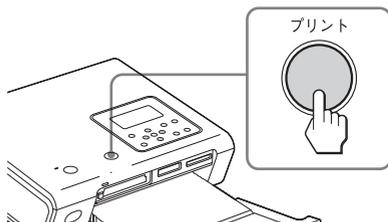
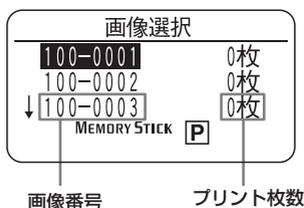
次のページにつづく

**［プリント設定］の横に［選択画像］以外が選ばれているときは**

次の手順で［選択画像］を選びます。

① ［プリント設定］が選ばれているときに、⊳ボタンを押す。
プリント方法を選ぶ画面が表示されます。

②△/▽ボタンで［選択画像］を選び、⊲ボタンを押す。
初期画面に戻ります。

**3 プリントボタンを押す。**

メモリーカードまたは外部機器内の画像の番号とプリント枚数が表示されます。

**前の画面に戻るには**

⊲ボタンを押します。

**ちょっと一言**

手順2-②で⊳ボタンを押した場合も、画像選択に進むことができます。

**4 △/▽ボタンでプリントしたい画像の画像番号を選び、決定ボタンまたは取消ボタンを押して、プリント枚数を設定する。**

- 1枚ずつ増やすには、決定ボタンを繰り返し押します。
- 1枚ずつ減らすには、取消ボタンを短く繰り返し押します。
- プリント設定を解除するには、取消ボタンを2秒以上押し続けます。（リモコンの取消ボタンでは、長押しは働きません。）

プリント枚数は、1画像につき20枚まで設定することができます。

**5 手順4を繰り返し、残りの画像を選択しプリント枚数を設定する。**

**6 プリントボタンを押す。**

選択した画像のプリントが始まります。プリント中は表示窓にプリント経過が表示されます。

**途中でプリントを中止するには**

取消ボタンを押します。複数のプリントを行っている場合、現在プリント処理中の次からのプリントが取り消されます。

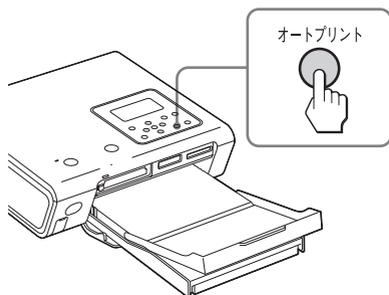
**7 プリントが終わり、プリントペーパーがペーパートレイに出てきたら取り出す。**

プリント中のご注意については、27ページをご覧ください。

# オートプリントをする（INDEX/DPOF/ALL）

メモリーカードまたは外部機器に保存されている画像をまとめてプリントすることを「オートプリント」といいます。
オートプリントには、次の3通りのプリント方法があります。それぞれのプリントについて、詳しくは、29ページをご覧ください。

- **インデックスプリント**
  全画像を分割画面でプリントします。
- **DPOFプリント**
  デジタルカメラなどでのプリント予約された画像を、まとめてプリントします。
- **全画像プリント**
  全画像を、1枚ずつプリントします。

**1 オートプリントボタンを繰り返し押して、「インデックス」、「DPOF」、または「全画像」を選ぶ。**

選択したプリント方法（インデックスを場合）

**2 プリントボタンを押す。**
プリントが始まります。プリント中は、表示窓にプリント経過が表示されます。

**3 プリントが終わり、プリントペーパーがペーパートレイに出てきたら取り出す。**

### 通常のプリントに戻すには

手順1で「選択画像」を選びます。

### ちょっと一言

- 31ページの手順1、2で、プリント設定画面を表示して、「インデックス」、「DPOF」、または「全画像」を選ぶこともできます。

- プリントカートリッジの残量がプリント枚数よりも少ない場合も、継続して印刷できます。途中でガイドメッセージが表示されますので、指示に従ってプリントパックを入れ換えてください。（16ページ）
- [画質の設定]メニュー（57ページ）で[日付プリント]が[入]に設定されているときは、撮影または保存年月日がプリントされます。

# 画質を設定する

テレビ出力モードでの画質の設定メニュー（55ページ）の一部を表示窓でも設定することができます。

**1 初期画面（31ページ）で、▽ボタンを押して、「画質の設定」を選ぶ。**

**2 ▷ボタンを押す。**

画質の設定画面が表示されます。

**3 △/▽ボタンで設定したい項目を選び、▷ボタンを押す。**

選んだ項目の設定画面が表示されます。



**4 △/▽ボタンで設定を選び、◁ボタンを押す。**

画質の設定画面に戻ります。

**5 手順3、4を繰り返し、残りの項目を設定する。**

**初期画面に戻るには**

◁ボタンを押します。

---

オートファインプリント3
: 自動的に画像を補正するかどうかを選べます。（写真*/鮮やか/切）

Exif Print
: Exif Print（Exif2.21）規格対応のデジタルカメラで撮影された画像を、自動的に最適な画像に調整してプリントするかどうかを選べます。（入*/切）

プリント仕上げ
: 画像の回りに余白を残さずプリントするか、余白を残してプリントするか選べます。（フチ無*/フチ有）

日付プリント
: DCF（Design rule for Camera File system）にそって撮影されている画像ファイルに日付けを入れてプリントするかどうかを選べます。（入/切*）

プリンタ画質設定
: 手順3、4を行い、プリントの色合いを「R」（赤）、「G」（緑）、「B」（青）それぞれの色要素毎に、シャープネスのレベルを設定できます。詳しくは、57ページをご覧ください。（*R:0/G:0/B:0/シャープネス:0）

---

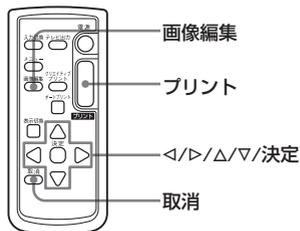
*: 工場出荷時の設定

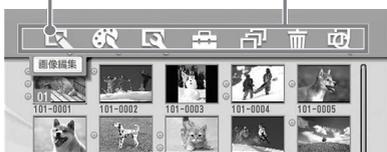
各項目について詳しくは、56、57ページをご覧ください。

# 画像を編集する

## 画像編集メニューを表示する

画像編集メニューをテレビ画面に表示し、メモリーカードや外部機器の画像の加工や編集ができます。

**画像編集で使うボタン**

**1** **加工したい画像を表示する。**
編集したい画像を画像一覧画面で選ぶか、表示切換ボタンを押してプレビュー画像を表示します。

**2** **メニュー（画像編集）ボタンを押す。**
メニューバーが表示されます。リモコンの画像編集ボタンを押した場合は、手順3の画像編集メニューが表示されます。

**3** **◁/▷ボタンで、（画像編集）を選び、決定ボタンを押す。**
画像編集メニューが表示されます。

| 項目 | 機能 |
|---|---|
| / | 画像を拡大、縮小します。 |
| | 画像を移動します。 |
| | 画像を回転します。 |
| | 画質を調整します。 |
| | 画像に特殊効果を付けます。 |
| | 赤目の補正を行います。 |
| | 画像上に文字を入力します。 |
| リセット | 画像編集を無効にし、画像を編集前の状態に戻します。 |
| 保存 | 編集した画像を保存します。 |
| 終了 | ［画像編集］メニューを終了します。 |

**ちょっと一言**
画像編集作業中もメニューボタンを押して他のメニューを選び、一部のメニューの設定ができます。

## 画像を拡大•縮小する

**1** **画像編集メニューを表示する。(35ページ)**

**2** **◁/▷/△/▽ボタンで、拡大するには を、縮小するには を選び、決定ボタンを押す。**

決定ボタンを押すたびに、縮小／拡大率が増加します。

- ：200%まで拡大できます。
- ：60%まで縮小できます。

**ご注意**

拡大した場合は、画像サイズによっては画質が低下することがあります。

## 画像を移動する

**1** **画像編集メニューを表示する。(35ページ)**

**2** **◁/▷/△/▽ボタンで、 (移動) を選び、決定ボタンを押す。**

画像枠が黄色になり、画像が移動できるようになります。

**3** **◁/▷/△/▽ボタンを押して、動かしたい位置に画像を移動する。**

画像が選んだ方向に移動します。

**4** **決定ボタンを押す。**

位置が確定します。

## 画像を回転する

**1** **画像編集メニューを表示する。(35ページ)**

**2** **◁/▷/△/▽ボタンで、 (回転) を選び、決定ボタンを押す。**

回転メニューが表示されます。

**3** **△/▽ボタンで、回転方向を選び、決定ボタンを押す。**

- ＋90゜回転：時計方向に90度回転します。
- −90゜回転：反時計方向に90度回転します。

## 画質を調整する

**1** **画像編集メニューを表示する。（35ページ）**

**2** **◁/▷/△/▽ボタンで、（画質調整）を選び、決定ボタンを押す。**

画質調整メニューが表示されます。

**3** **△/▽ボタンで調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。**

それぞれの項目の調整画面が表示されます。

[明るさ]を選んだ場合

**4** **スライダーでレベルを確認しながら調整する。**

- 明るさ
  画像を全体的に明るくするには△を、暗くするには▽を押します。
- 色あい
  緑っぽい色あいにするには△を、赤っぽい色あいにするには▽を押します。
- 色の濃さ
  全体的に色を濃くするには△を、薄くするには▽を押します。
- シャープネス:
  画像の輪郭を鮮明にするには△を、ぼかすには▽を押します。

**5** **決定ボタンを押す。**

画質調整が働きます。画像編集メニューに戻ります。

### 編集操作を取り消すには

◁/▷/△/▽ボタンで［リセット］を選び、決定ボタンを押します。画像が、編集を行う前の状態に戻ります。

## 画像に特殊な効果を付ける（エフェクト）

**1** **画像編集メニューを表示する。****（35ページ）**

**2** **◁/▷/△/▽ボタンで、（エフェクト）を選び、決定ボタンを押す。**

エフェクトメニューが表示されます。

**3** **△/▽ボタンで、画像に付けたい特殊効果を選ぶ。**

- セピア: 色褪せた古い写真のような画像になります。
- モノクロ：白黒写真のような画像になります。
- ペイント: 水彩画のような画像になります。
- 魚眼：魚眼レンズで撮影した写真のような画像になります。
- ノーマル：特殊効果を付けていない状態に戻ります。

**4** **決定ボタンを押す。**

特殊効果が付きます。画像編集メニューに戻ります。

## 赤目を補正する

フラッシュを使って撮影した画像などで、被写体の目が赤く写っているのを、補正することができます。

**ご注意**

赤目の補正後に、拡大、縮小、回転、移動を行うと正しく補正されないことがあります。画像の拡大、縮小、回転、移動後に赤目の補正を行うようにしてください。

**1** **画像編集メニューを表示する。****（35ページ）**

**2** **◁/▷/△/▽ボタンで、（赤目の補正）を選び、決定ボタンを押す。**

画像内に、白黒の補正枠が表示されます。枠は、赤目の補正を行う範囲を表しています。

**3** **補正枠の位置と大きさを調整する。**

片目ずつ補正を行ってください。

**■ 補正枠の位置を移動するには**

① ◁/▷/△/▽ボタンで、（移動）を選び、決定ボタンを押す。
② ◁/▷/△/▽ボタンを押して補正枠を移動する。
③ 決定ボタンを押す。
補正枠の位置が確定します。

■ 補正枠の大きさを変更するには

◁/▷/△/▽ボタンで、拡大するには 🔍 を、縮小するには 🔍 を選び、決定ボタンを押します。

決定ボタンを押すたびに、補正枠が拡大、または縮小します。

**ちょっと一言**

補正枠は瞳の大きさの2~7倍の大きさに設定してください。

**4** **◁/▷/△/▽ボタンで、［実行］を選び、決定ボタンを押す。**

補正範囲が拡大されて表示されます。

**5** **決定ボタンを押す。**

赤目の補正が働きます。画像編集メニューに戻ります。

**補正を取り消すには**

手順5で取消ボタンを押します。手順2の画面に戻ります。

## 文字を入力する

画像編集の［文字入力］機能を使って、画像上に文字を5行まで表示することができます。

**1** **画像編集メニューを表示する。****（35ページ）**

**2** **◁/▷/△/▽ボタンで、A（文字入力）を選び、決定ボタンを押す。**

文字入力画面が表示されます。

**3** **文字の種類を選ぶ。**

◁/▷/△/▽ボタンで、
［かな］､［英数］または［記号］を選び、決定ボタンを押します。

選んだ文字種のキーボードが表示されます。

## 4 書体を選ぶ。

文字は、［書体］の横に表示されている書体で入力されます。次の手順で別の書体を選ぶことができます。

① ◁/▷/△/▽ボタンで［書体］を選ぶ。

② 使いたい書体が表示されるまで決定ボタンを押す。

次の書体から選べます。

ABCDEFGHIJK　　あいうえおかきくけこ

ABCDEFGHIJK　　あいうえおかきくけこ

**ABCDEFGHIJK**　　あいうえおかきくけこ

ABCDEFGHIJK

*ABCDEFGHIJK*

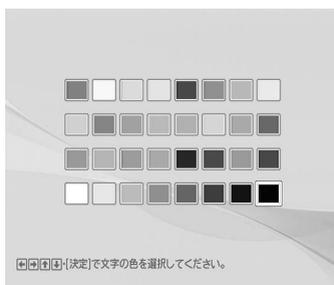
**ご注意**

- 欧文書体を選んだ場合は、英数字と記号以外は入力できません。
- 1回の入力で、異なるフォントや文字色の指定はできません。すべての行が同じフォントと文字色になります。入力の途中で、フォントと文字色は変更できますが、すべての行に変更内容が反映されます。

## 5 文字の色を選ぶ。

文字は、［カラー］の横に表示されている色で入力されます。次の手順で別の文字色を選ぶことができます。

① ◁/▷/△/▽ボタンで［カラー］を選び、決定ボタンを押す。

文字色選択画面が表示されます。

② ◁/▷/△/▽ボタンで文字色を選び、決定ボタンを押す。

**ご注意**

1つの行で異なる文字色を選ぶことはできません。

## 6 ◁/▷/△/▽ボタンで、キーボードの文字を選び、決定ボタンを押して入力する。

1行に約50文字まで入力することができます。

文字の入力方法については、「文字の入力のしかた」（41ページ）をご覧ください。

## 7 文字を入力したら、◁/▷/△/▽ボタンで［終了］を選び決定ボタンを押す。

文字入力画面が閉じ、プレビュー画像が表示されます。プレビュー画像上に入力した文字が重なって表示されます。

**8** ◁/▷/△/▽ボタンで調節したい項目を選び、決定ボタンを押して、文字サイズと位置を調節する。

| 項目 | 操作方法 |
|---|---|
| 再入力 | 文字入力画面に戻って文字を修正できます。 |
| (拡大アイコン) | 決定ボタンを押すたびに、文字が拡大します。 |
| (縮小アイコン) | 決定ボタンを押すたびに、文字が縮小します。 |
| (移動アイコン) | 動かしたい位置に文字が移動するまで、◁/▷/△/▽ボタンを押します。決定ボタンを押すと位置が確定します。 |
| (あ) | 文字が縦書きになり、もう一度選ぶと、横書きになります。(欧文フォントの縦書きはできません。) |
| (右回転アイコン) | 決定ボタンを押すたびに文字が時計方向に90°回転します。 |
| (左回転アイコン) | 決定ボタンを押すたびに文字が反時計方向に90°回転します。 |

**ご注意**

入力文字数が多い場合は、回転、拡大、縮小ができないことがあります。

**9** ◁/▷/△/▽ボタンで、[確定]を選び、決定ボタンを押す。

文字入力が確定され、画像上に貼り付けられます。

**ご注意**

決定ボタンを押した後は、位置を移動したり、消したりすることはできません。

## 文字の入力のしかた

次の変換方法を組み合わせて文字を入力します。

### ■ 予測入力(POBox)機能を使って変換するには

本機では、入力した文字や変換候補覧で選んだ文字から文脈を予測して(予測入力(POBox)機能)、入力行の下に変換候補を表示します。ここらから文字を選ぶことにより、簡単に文字を変換、入力ができます。

カーソル(入力位置)　変換候補

例として[ひまわりがある風景]を、予測入力(POBox)機能を使って入力してみます。

**1** ◁/▷/△/▽ボタンで、キーボードから[ひ]を選び、決定ボタンを押す。

[ひ]が入力行に表示され、[ひ]または[び]、[ぴ]から始まると予測される単語(予測候補)が入力行の下の文字変換候補欄に表示されます。

次の候補を表示するには候補欄の[➔]を、前の候補に戻るには[←]を選び、決定ボタンを押します。

[ひまわり]がすぐに見つからない場合でも、順に[ま]、[わ]と入力していくと、[ひまわり]が予測候補一覧に出てきます。

次のページにつづく

**2** **予測候補一覧の中から、◁/▷/△/▽ボタンで［ひまわり］を選び、決定ボタンを押す。**

［ひまわり］に続くと予測される単語が文字変換候補欄に表示されます。

**3** **予測候補一覧の中から、◁/▷/△/▽ボタンで［が］、［ある］の順番に選び、決定ボタンを押す。**

［ひわまりがある］に続くと予測される単語が予測候補一覧に表示されます。

**4** **［風景］を選び、決定ボタンを押す。**

［風景］がすぐに出ない場合は、［ふ］、［う］と入力します。

■**漢字変換機能を使って変換するには**

予測候補一覧に希望の文字・単語がない場合は漢字変換を使って変換することができます（本機は、JIS第一水準をサポートしています）。

**1** **入力行に漢字変換したい文字を黄色い背景で表示し、◁/▷/△/▽ボタンで［漢字変換］を選び、決定ボタンを押す。**

変換候補の漢字が、入力行の下の文字変換候補欄に表示されます。［漢字変換］ボタンは［POBox］表示に変ります。

予測入力（POBox）に戻るときに選ぶ。

**2** **変換候補一覧の中から、◁/▷/△/▽ボタンで文字を選び、決定ボタンを押す。**

■**カタカナに変換するには**

**1** **入力行にカタカナ変換したい文字を入力する。**

文字が黄色い背景で表示されます。

**2** **◁/▷/△/▽ボタンで［カタカナ変換］を選び、決定ボタンを押す。**

手順1で黄色い背景で表示されていた文字がカタカナに変わります。再度決定ボタンを押すと、ひらがなに戻ります。

カタカナ／ひらがな変換ボタン

**3** **◁/▷/△/▽ボタンで［確定］を選び、決定ボタンを押すか、次の文字を選択する。**

入力行の文字が確定されます。

### ■小さいひらがなを入力するには

**1** **入力行に小さいひらがなに変換したい文字を入力する。**

文字が黄色い背景で表示されます。

**2** **◁/▷/△/▽ボタンで［小文字］を選び、決定ボタンを押す。**

手順1で黄色い背景で表示されていた文字が小さいひらがなに変わります。(小文字にできない文字は変換されません)。

**3** **◁/▷/△/▽ボタンで［確定］を選び、決定ボタンを押すか、次の文字を選択する。**

入力行の文字が確定されます。

### ■ 英文の小文字、大文字を切り換えるには

◁/▷/△/▽ボタンで［小文字］を選び決定ボタンを押すと、小文字キーボードに、［大文字］を選ぶと大文字キーボードに切り換わります。

### ■改行するには

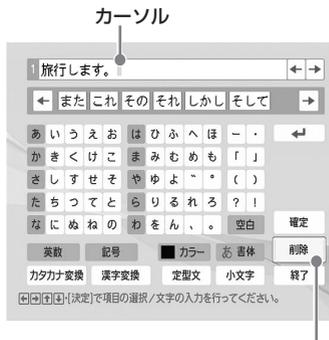
◁/▷/△/▽ボタンで↵を選び、決定ボタンを押します。入力行左端の行数が増えます。

前の行に戻るには、◁/▷/△/▽ボタンで入力行の［←］を、次の行を表示するには［→］をそれぞれ選び、決定ボタンを押します。最大5行まで改行できます。

### ■入力行の文字を修正するには

- **カーソル（｜）の一つ前の文字を消去するには**

  ◁/▷/△/▽ボタンで、［削除］を選び決定ボタンを押します。決定ボタンを押すたびに前の文字が消えていきます。

次のページにつづく

- **途中で文字を削除、挿入するには**
  ①◁/▷/△/▽ボタンで、入力行の［←］または［→］を選ぶ。
  ②文字を挿入または削除したい位置にカーソルが移動するまで、繰り返し決定ボタンを押す。

  ③文字を挿入または削除する。
  - 挿入するには、◁/▷/△/▽ボタンで、キーボードから挿入したい文字を選び決定ボタンを押します。
  - 削除するには、◁/▷/△/▽ボタンで、［削除］を選び決定ボタンを押します。決定ボタンを押すたびに前の文字が消えていきます。

## ■ 定型文を登録するには

よく使う文章は定型文として3つまで（1つの定型文について全角40文字、英･半角文字80文字まで）登録しておくことができます。

**1　入力行に定型文として保存したい文章を表示する。**

**2　◁/▷/△/▽ボタンで［定型文］を選び、決定ボタンを押す。**

定型文読み込み、登録ダイアログボックスが表示されます。

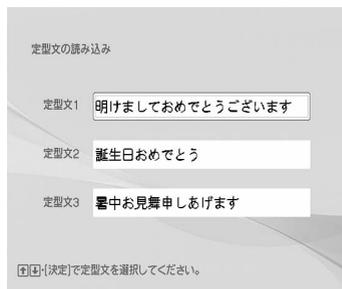
**3　◁/▷ボタンで［保存］を選び決定ボタンを押す。**

定型文1〜3の選択画面が表示されます。

**4　△/▽ボタンで保存先を選び決定ボタンを押す。**

1で入力した文章が定型文として登録されます。

### 登録した定型文を読み込むには

手順3で［読み込み］を選ぶと、定型文の選択画面が表示されます。

△/▽ボタンで入力行に読み込みたい定型文を選び決定ボタンを押します。
選択した定型文が入力行に上書き、挿入されます。

**ご注意**

入力行に文字が入力されていた場合は、読み込んだ定型文に上書きされます。

## 画像を保存、プリントする

### 画像を保存する

画像編集やクリエイティブプリントを終了したり、画面で［保存］を選ぶと、画像の保存先を選ぶダイアログボックスが表示されます。画像は、新しいファイル番号で保存することができます。

**ちょっと一言**

元の画像は上書きされません。

**1 保存先を選ぶ。**

△/▽ボタンで保存先のメディア（［メモリースティック］、［SDカード］、または［コンパクトフラッシュ］）を選び、決定ボタンを押します。

日付けの設定画面が表示されます。保存した日付けを画像に保存できます。

**2 日付けを設定する。**

△/▽ボタンで数字を選び、◁/▷ボタンで項目（年、月、日）を選び、決定ボタンを押します。

編集またはクリエイティブプリント画像が、新規の画像として保存されます。画像の保存番号が表示されます。

**3 決定ボタンを押す。**

**ご注意**

画像の保存中は、電源を切ったり、メモリーカードを取り外したりしないでください。本機やメモリーカードを破損したり、データを破損する場合があります。

### 画像をプリントする

**1 プリントボタンを押す。**

印刷画面が表示されます。

**2 決定ボタンまたは取消ボタンを押して、プリント枚数を設定する。**

- プリント枚数を1枚ずつ増やすには、決定ボタンを繰り返し押します。
- プリント枚数を1枚ずつ減らすには、取消ボタンを短く繰り返し押します。
- プリント枚数を1枚に戻すには、取消ボタンを2秒以上押し続けます。（リモコンの取消ボタンでは、長押しは働きません。）

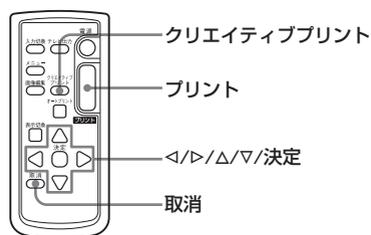
**3 ◁/▷/△/▽ボタンで［OK］を選び、決定ボタンを押す。**

表示されている画像がプリントされます。

# いろいろなプリントを作る（クリエイティブプリント）

## クリエイティブプリントメニューを表示する

クリエイティブプリントメニューをテレビ画面に表示し、メモリーカードや外部機器の画像の加工や編集ができます。

### クリエイティブプリントで使うボタン

**1　メニュー（クリエイティブプリント）ボタンを押す。**

メニューバーが表示されます。リモコンのクリエイティブプリントボタンを押した場合は、手順2のクリエイティブプリントメニューが表示されます。

**メニューバーを消して元の画面に戻るには**

メニューボタンを押します。

**2　◁/▷ボタンで、（クリエイティブプリント）を選び、決定ボタンを押す。**

クリエイティブプリントメニューが表示されます。

### クリエイティブプリントを終了するには

- 操作途中で、メニューボタンを押し、［クリエイティブプリントの終了］を選びます。
- プレビュー画像で［作成終了］を選び、決定ボタンを押します。
  画像の保存の確認画面が表示される場合があります。（45ページ）

### 途中で操作をやり直すには

取消ボタンを押します。ひとつ前の手順の画面が表示されます。操作手順によってはやり直せない場合もあります。

#### ちょっと一言

クリエイティブプリント作業中もメニューボタンを押して他のメニューを選び、一部のメニューの設定ができます。

## 自由レイアウトプリントを作る

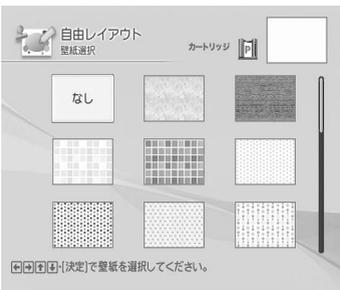
画像にフレーム、壁紙、メッセージ、文字、カレンダー、スタンプなどを入れて、自由なレイアウトでプリントを作ります。

**1** **クリエイティブプリントメニューを表示する。（46ページ）**

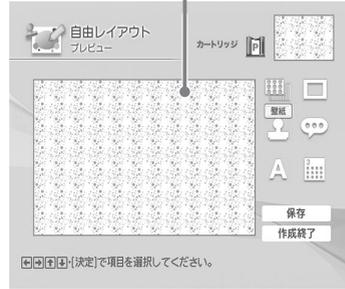
**2** **◁/▷/△/▽ボタンで、[自由レイアウト] を選び、決定ボタンを押す。**

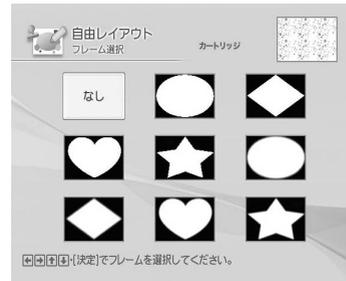
プリントペーパーのサイズを選ぶ画面が表示されます。

**3** **◁/▷ボタンで、使用中のプリントペーパーのサイズを選び、決定ボタンを押す。**

壁紙を選ぶ画面が表示されます。

**4** **◁/▷/△/▽ボタンで壁紙を選び、決定ボタンを押す。**

壁紙が必要ない場合は、[なし] を選びます。選択した壁紙のプレビュー画像が表示されます。

選んだ壁紙

**5** **◁/▷/△/▽ボタンで、▭（画像）を選び、決定ボタンを押す。**

フレームの選択画面が表示されます。

**6** **◁/▷/△/▽ボタンでフレームを選び、決定ボタンを押す。**

フレームが必要ない場合は、[なし] を選びます。画像の選択画面が表示されます。

次のページにつづく

## 7 ◁/▷/△/▽ボタンで画像を選び、決定ボタンを押す。

画像の位置調整画面が表示されます。画像は選択したフレーム内に表示されます。

## 8 画像の位置と大きさを調整する。

◁/▷/△/▽ボタンで調整ボタンを選び、決定ボタンを押して調整します。

| 項目 | 操作方法 |
|---|---|
|  | 決定ボタンを押すたびに拡大されます。 |
|  | 決定ボタンを押すたびに縮小されます。 |
|  | ◁/▷/△/▽ボタンを押して移動し、決定ボタンで位置を確定します。 |
|  | 決定ボタンを押すと、時計方向に90度回転します。 |
|  | 決定ボタンを押すと、反時計方向に90度回転します。 |

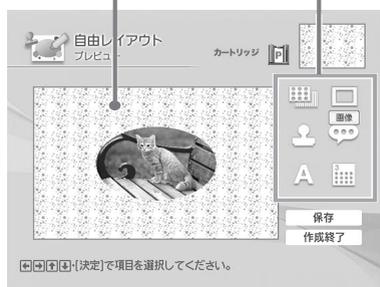
## 9 ◁/▷/△/▽ボタンで［確定］を選び、決定ボタンを押す。

フレーム付き画像の位置調整画面が表示されます。

## 10 フレーム付き画像の位置と大きさを調整する。

手順8と同様にフレーム付き画像の大きさや位置を調整します。

## 11 ◁/▷/△/▽ボタンで［確定］を選び、決定ボタンを押す。

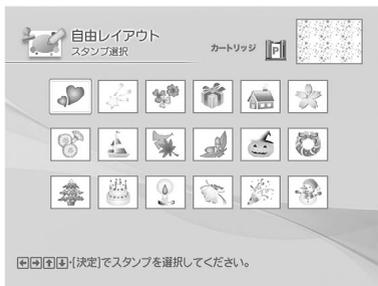
フレーム付きの画像のプレビュー画像が表示されます。この画面から、項目を選び、画像に好みの効果を追加することができます。（次ページ）

## 12 手順11で好みの効果を追加したら、プレビュー画像を確認し、保存、プリントなどの操作を行う。

保存、プリント方法については詳しくは、45ページをご覧ください。

## 画像に好みの効果を追加する

### ■スタンプを追加するには

**1** **◁/▷/△/▽ボタンで（スタンプ）を選び、決定ボタンを押す。**

スタンプ選択画面が表示されます。

**2** **◁/▷/△/▽ボタンでスタンプを選び、決定ボタンを押す。**

スタンプの位置調整画面が表示されます。スタンプの位置と大きさを調整します。調整方法については、48ページの手順8をご覧ください。

**3** **◁/▷/△/▽ボタンで［確定］を選び、決定ボタンを押す。**

スタンプが画像上に表示されます。

### ■壁紙を選び直すには

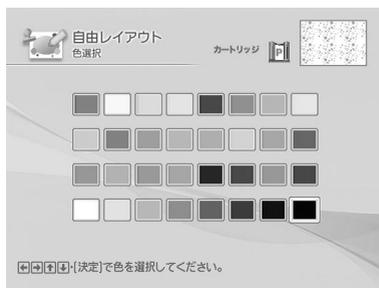
◁/▷/△/▽ボタンで（壁紙）を選び、決定ボタンを押します。壁紙を選ぶ画面が表示されます。

### ■ メッセージを追加するには

**1** **◁/▷/△/▽ボタンで（メッセージ）を選び、決定ボタンを押す。**

メッセージ選択画面が表示されます。

**2** **◁/▷/△/▽ボタンでメッセージを選び、決定ボタンを押す。**

メッセージの色選択画面が表示されます。

**3** **◁/▷/△/▽ボタンで色を選び、決定ボタンを押す。**

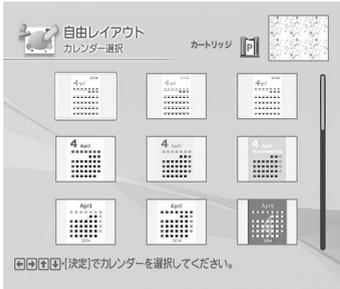
メッセージの位置調整画面が表示されます。メッセージの位置と大きさを調整します。調整方法については、48ページの手順8をご覧ください。

**4** **◁/▷/△/▽ボタンで［確定］を選び、決定ボタンを押す。**

メッセージが選んだ色で画像上に表示されます。

■カレンダーを追加するには

**1** **◁/▷/△/▽ボタンで （カレンダー）を選び、決定ボタンを押す。**

カレンダーのタイプを選ぶ画面が表示されます。

**2** **◁/▷/△/▽ボタンでカレンダーのタイプを選び、決定ボタンを押す。**

カレンダー設定画面が表示されます。

**3** **カレンダーの各項目を設定する。**

△/▽ボタンで項目を選び、◁/▷ボタンで設定を変更します。

| 項目 | 操作方法 |
|---|---|
| 開始月 | カレンダーを開始する年と月を設定します。<br>◁/▷ボタンで年を選び、△/▽ボタンで数値を変更し、決定ボタンを押します。同様に月も設定します。 |
| 開始曜日 | カレンダーの左端にくる曜日を設定します。<br>◁/▷ボタンで［日曜日］または［月曜日］を選び決定ボタンを押します。 |
| 文字色 | 休日の表示色を設定します。<br>▷ボタンを押し、△/▽ボタンで日曜日・祝日・土曜日の文字色を選び決定ボタンを押します。 |

**4** **◁/▷/△/▽ボタンで［確定］を選び、決定ボタンを押す。**

カレンダーの位置調整画面が表示されます。カレンダーの位置と大きさを調整します。調整方法については、48ページの手順8をご覧ください。

**5** **◁/▷/△/▽ボタンで［確定］を選び、決定ボタンを押す。** カレンダーが画像上に表示されます。

■ 文字を入力するには

◁/▷/△/▽ボタンで （文字入力）を選び、決定ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。「文字を入力する」（39～44ページ）の手順で文字を入力します。

## カレンダーを作る

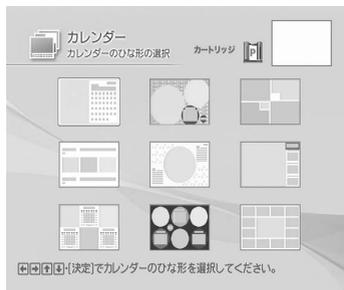
画像や月を選び、オリジナルカレンダーが作れます。

**1** **クリエイティブプリントメニューを表示する。（46ページ）**

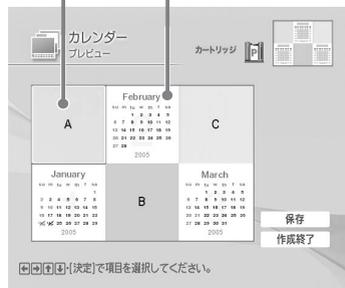
**2** **◁/▷/△/▽ボタンで、[カレンダー] を選び、決定ボタンを押す。**

プリントペーパーのサイズを選ぶ画面が表示されます。（47ページ）

**3** **◁/▷ボタンで、お使いになるプリントペーパーのサイズを選び、決定ボタンを押す。**

選択したペーパーサイズのカレンダーのひな形を選ぶ画面が表示されます。

［ポストカード］を選んだ場合

**4** **◁/▷/△/▽ボタンでひな形を選び、決定ボタンを押す。**

選択したひな形のプレビュー画像が表示されます。

**ちょっと一言**

どのエリアを先に選択してもかまいません。

**5** **画像を選択する。**

複数の画像が入るひな形を選んだときは、それぞれの画像エリアについて画像を選びます。

① ◁/▷/△/▽ボタンで画像エリアを選び、決定ボタンを押す。
画像選択画面が表示されます。（47ページ）

② ◁/▷/△/▽ボタンで画像を選び、決定ボタンを押す。
画像の位置調整画面が表示されます。画像の位置と大きさを調整します。調整方法については、48ページの手順8をご覧ください。

③ ◁/▷/△/▽ボタンで［確定］を選び、決定ボタンを押す。
画像が画像エリアに追加されます。

**6** **カレンダーを設定する。**

◁/▷/△/▽ボタンでカレンダーエリアを選び、決定ボタンを押し、カレンダー設定画面を表示します。50ページの手順3と同様に、カレンダーを設定します。

次のページにつづく

**7** **◁/▷/△/▽ボタンで［確定］を選び、決定ボタンを押す。**

カレンダーがカレンダーエリアに表示されます。

**8** **画像を確認し、保存、プリントなどの操作を行う。**

保存、プリント方法については詳しくは、45ページをご覧ください。

## カードを作る

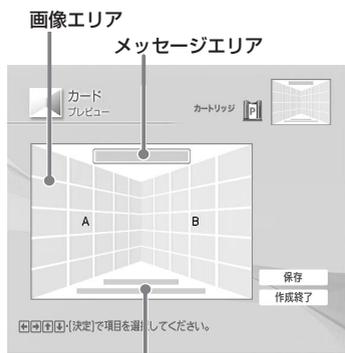
3D効果をつけた画像にメッセージと入力文字を添えて、オリジナルのカードが作れます。

**1** **クリエイティブプリントメニューを表示する。（46ページ）**

**2** **◁/▷/△/▽ボタンで、［カード］を選び、決定ボタンを押す。**

プリントペーパーのサイズを選ぶ画面が表示されます。（47ページ）

**3** **◁/▷ボタンで、使用中のプリントペーパーのサイズを選び、決定ボタンを押す。**

カードのひな形を選ぶ画面が表示されます。

［ポストカード］を選んだ場合

**4** **◁/▷ボタンでひな形を選び、決定ボタンを押す。**

選択したひな形のプレビュー画像が表示されます。

**ちょっと一言**

どのエリアを先に選択してもかまいません。

## 5 画像を選択する。

複数の画像が入るひな形を選んだときは、それぞれの画像エリアについて画像を選びます。

① ◁/▷/△/▽ボタンで画像エリアを選び、決定ボタンを押す。
画像選択画面が表示されます。（47ページ）

② ◁/▷/△/▽ボタンで画像を選び、決定ボタンを押す。
画像の位置調整画面が表示されます。画像の位置と大きさを調整します。調整方法については、48ページの手順8をご覧ください。

③ ◁/▷/△/▽ボタンで［確定］を選び、決定ボタンを押す。
画像が画像エリアに追加されます。

## 6 メッセージを選択する。

① ◁/▷/△/▽ボタンでメッセージエリアを選び、決定ボタンを押す。
メッセージの選択画面が表示されます。（49ページ）

② ◁/▷/△/▽ボタンでメッセージを選び、決定ボタンを押す。
メッセージの色選択画面が表示されます。

③ ◁/▷/△/▽ボタンで色を選び、決定ボタンを押す。
メッセージが選んだ色で表示されます。

④ ◁/▷/△/▽ボタンで［確定］を選び、決定ボタンを押す。
メッセージがメッセージエリアに追加されます。

## 7 文字を入力する。

◁/▷/△/▽ボタンで文字入力エリアを選び決定ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。「文字を入力する」（39～44ページ）の手順で文字を入力します。

## 8 プレビュー画像を確認し、保存、プリントなどの操作を行う。

保存、プリント方法については詳しくは、45ページをご覧ください。

## 分割写真を作る

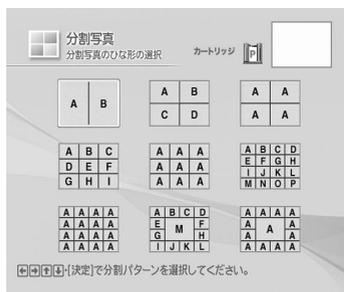
2分割、4分割、9分割、13分割、16分割の分割写真を作れます。
(13分割、16分割はポストカードサイズのみ選択可能です。)

**1** **クリエイティブプリントメニューを表示する。(46ページ)**

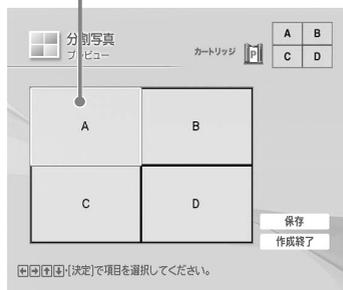
**2** **◁/▷/△/▽ボタンで、[分割写真] を選び、決定ボタンを押す。**

プリントペーパーのサイズを選ぶ画面が表示されます。(47ページ)

**3** **◁/▷ボタンで、使用中のプリントペーパーのサイズを選び、決定ボタンを押す。**

分割写真のひな形を選ぶ画面が表示されます。

[ポストカード]を選んだ場合

**4** **◁/▷/△/▽ボタンでひな形を選び、決定ボタンを押す。**

選択したひな形のプレビュー画像が表示されます。

**ちょっと一言**

どの画像エリアから選択してもかまいません。

**5** **◁/▷/△/▽ボタンで画像エリアを選び、決定ボタンを押す。**

画像選択画面が表示されます。(47ページ)

**6** **◁/▷/△/▽ボタンで画像を選び、決定ボタンを押す。**

画像の位置調整画面が表示されます。画像の位置と大きさを調整します。調整方法については、48ページの手順8をご覧ください。

**7** **◁/▷/△/▽ボタンで [確定] を選び、決定ボタンを押す。**

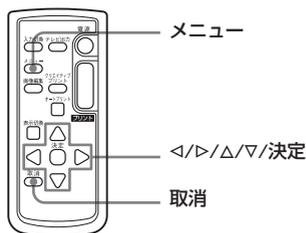
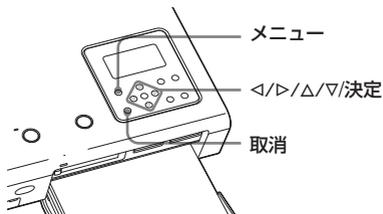
画像が画像エリアに追加されます。
複数の画像のひな形を選んだ場合は、手順5から7を繰り返します。

**8** **画像を確認し、保存、プリントなどの操作を行う。**

保存、プリント方法については詳しくは、45ページをご覧ください。

# プリント時の設定を変える（画質の設定）

画質の設定メニューを使って、プリント時の設定を変更することができます。

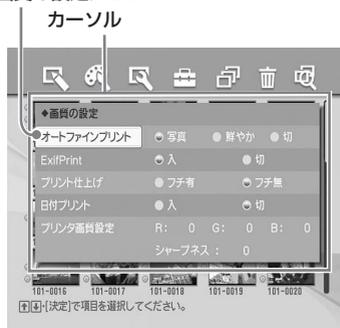
### 画質の設定メニューで使うボタン

**1** **メニューボタンを押す。**

メニューバーが表示されます。

**メニューバーを消して元の画面に戻るには**

メニューボタンを押します。

**2** **◁/▷ボタンで、（画質の設定）を選び、決定ボタンを押す。**

画質の設定メニューが表示されます。

**ご注意**

設定を変更できない場合は、該当する項目がグレイで表示され、選択できません。

**3** **△/▽ボタンで変更したい項目を選び、◁/▷ボタンで設定を変更し、決定ボタンを押す。**

次のページにつづく

| 項目 | 設定 | 内容 |
| --- | --- | --- |
| オートファインプリント3 | 写真* / 鮮やか | ● 写真：画像を自動的に補正し、自然で綺麗にプリントします。（推奨）<br>● 鮮やか: 画像を自動的に補正し、写真モードよりもさらに鮮やかにプリントします。<br>**ご注意**<br>● 画像データ自体は補正されません。<br>● パソコンモードでプリントする場合は、プリンタードライバーでのオートファインプリント3の設定が優先されます。LCD表示モード、PictBridgeモードでは、ここでの設定は有効になります。 |
|  | 切 | 画像を補正せずにそのままプリントします。 |
| ExifPrint | 入* | Exif Print（Exif2.21）規格対応のデジタルカメラで撮影された画像は、自動に最適な画像に調整されてプリントされます。<br>**ご注意**<br>画像データ自体は補正されません。 |
|  | 切 | 画像を補正せずにそのままプリントします。 |
| プリント仕上げ | フチ有 | 画像の回りに余白を残してプリントします。<br>**ご注意**<br>画像によっては、上下または左右がカットされてプリントされることがあります。 |
|  | フチ無* | 画像の回りに余白を残さずプリントします。<br>**ご注意**<br>デジタルカメラなどで撮影した一般的な4:3の画像をプリントすると、上下がカットされ、3:2の画像でプリントされます。 |

*: 工場出荷時の設定

| 項目 | 設定 | 内容 |
|---|---|---|
| 日付プリント | 入 | 画像がDCF（Design rule for Camera File system）にそって撮影されているファイルの場合、撮影情報として記録されている撮影日を入れて、プリントします。<br>本機で画像を加工、編集した場合、保存時に表示される日付け設定画面で入力した日付けがプリントされます。 |
| | 切* | 画像に日付けを入れずにプリントします。 |
| プリンタ画質設定 | | プリントの色あい、シャープネスを調整します。◁/▷ボタンで［R］（赤）、［G］（緑）、［B］（青）それぞれの色要素、シャープネスを選び、△/▽ボタンで数値を大きくまたは小さく設定します。<br>R：赤と水色の成分を調整します。値を大きくすると、赤い光を軽くあてたように赤味が増します。値を小さくすると、暗くなり赤味が落ちます。また同時に水色を加えたようになります。<br>G：緑と赤紫の成分を調整します。値を大きくすると、緑の光を軽くあてたように緑味が増します。値を小さくすると、暗くなり緑味が落ちます。また同時に赤紫色を加えたようになります。<br>B：青と黄色の成分を調整します。値を大きくすると、青い光を軽くあてたように青味が増します。値を小さくすると、暗くなり青味が落ちます。また同時に黄色を加えたようになります。<br>シャープネス：画像の輪郭を調整します。値を大きくすると輪郭が鮮明になります。<br>（*R:0/G:0/B:0/シャープネス:0） |

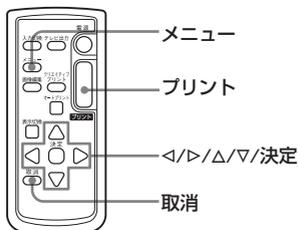
*: 工場出荷時の設定

**操作を取り消すには**

取消ボタンを押すと、設定前の状態に戻ります。

# スライドショーを見る

メモリーカードまたは外部機器内の画像を、次々に切り替えて表示するスライドショーを見ることができます。また、表示されている画像のプリントをすることができます（手動時）。

### スライドショーで使うボタン

**1** **メニューボタンを押す。**

メニューバーが表示されます。

**2** **◁/▷ボタンで、（スライドショー）を選び、決定ボタンを押す。**

スライドショーメニューが表示されます。

**3** **△/▽ボタンで［切換え］を選び、◁/▷ボタンで画像を自動で切り換えたいときは［自動］を、手動で切り換えたいときは［手動］を選び、決定ボタンを押す。**

**4** **◁/▷/△/▽ボタンで［実行］を選び、決定ボタンを押す。**

- 「自動」を選んだとき：メモリーカードまたは外部機器内の画像が次々に自動的に切り換わり表示されます。
- 「手動」を選んだとき：スライドショーを選ぶ前に画像一覧画面でカーソルの当たっていた画像が表示されます。◁/▷/△/▽ボタンで画像一覧画面での左右上下の画像に表示を切り換えられます。

### スライドショーを終了するには

取消ボタンを押します。

### 表示されている画像をプリントするには

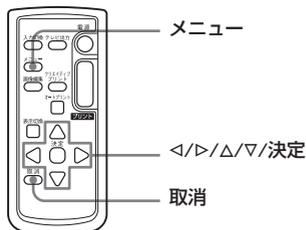
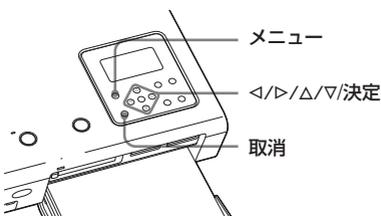
「手動」でスライドショーを表示しているときは、プリントボタンを押して表示されている画像をプリントできます。

**ご注意**

- 画像によっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- 画像データが壊れているなどの理由で表示できない画像は、スライドショーでは表示されません。

# 画像を消去する

メモリーカードの画像を消去したり、"メモリースティック"を初期化することができます。

### 画像の消去で使うボタン

**ご注意**

- 画像の消去中または"メモリースティック"の初期化中は、電源を切ったり、メモリーカードを取り出さないでください。プリンター本体やメモリーカードを破損したり、データを破損する場合があります。
- 消去した画像はもとに戻りません。実行する前に内容を確認してください。
- 初期化を行った場合、画像ファイル以外のファイルもすべてなくなります。
- 外部機器の画像は消去できません。
- "メモリースティック"以外のメモリーカードや外部機器の初期化はできません。

## 選んだ画像を消去する

メモリーカードの画像を選んで消去できます。

**1 メニューボタンを押す。**

メニューバーが表示されます。

**2 ◁/▷ボタンで、(画像消去）を選び、決定ボタンを押す。**

画像消去メニューが表示されます。

**3 △/▽ボタンで［画像消去］を選び、決定ボタンを押す。**

メモリーカードの画像一覧画面が表示されます。

手順1の前の画面でカーソルのあった画像にゴミ箱アイコンが表示されています。

次のページにつづく

いろいろなプリントを楽しむ（テレビ出力モード）

**4** **◁/▷/△/▽ボタンで消去したい画像にゴミ箱アイコンを移動し、決定ボタンを押す。**

確認ダイアログボックスが表示されます。

**5** **◁/▷ボタンで［OK］を選び、決定ボタンを押す。**

選択した画像が消去されます。複数の画像を消去するには、手順4と5を繰り返します。

**ご注意**

- 関連ファイルマーク( )の付いた画像を消去した場合、Eメール用の画像や動画なども消去されます。
- プロテクトマーク( )の付いた保護されているファイルは消去できません。

## "メモリースティック"を初期化する

"メモリースティック"を初期化することができます。

**1** **メニューボタンを押す。**

メニューバーが表示されます。

**2** **◁/▷ボタンで、 (画像消去）を選び、決定ボタンを押す。**

画像消去メニューが表示されます。

**3** **△/▽ボタンで［メモリースティックの初期化］を選び、決定ボタンを押す。**

確認ダイアログボックスが表示されます。

**4** **◁/▷ボタンで［OK］を選び、決定ボタンを押す。**

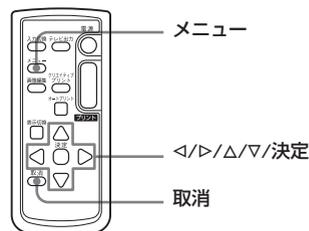
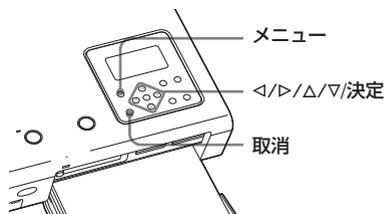
"メモリースティック"が初期化されます。

**ご注意**

初期化を行った場合、画像ファイル以外のファイルもすべてなくなります。

# 画像を検索する

メモリーカードまたは外部機器内の画像を、ファイル番号や日付けで検索することができます。

**画像の検索で使うボタン**

**1** **メニューボタンを押す。**

メニューバーが表示されます。

**メニューバーを消して元の画面に戻るには**

メニューボタンを押します。

**2** **◁/▷ボタンで、 (画像検索）を選び、決定ボタンを押す。**

画像検索メニューが表示されます。

**3** △/▽ボタンで検索方法を選び、決定ボタンを押す。

検索方法を設定する画面が表示されます。

**4** ◁/▷ボタンで項目を選び、△/▽ボタンで数字を設定する。

■［フォルダーファイル番号で検索］を選んだ場合

検索したい画像の範囲を、最初と最後のフォルダ、ファイル番号（「フォルダ番号ーファイル番号」～「フォルダ番号ーファイル番号」）で指定します。

最初のファイル番号　最後のファイル番号

■［日付で検索］を選んだときは

検索をしたい画像の日付けの範囲（「年月日」～「年月日」）を指定します。

■［フォルダへジャンプ］を選んだときは

検索をしたい画像のフォルダ番号を指定します。

**5** 決定ボタンを押す。

検索が開始し、検索結果が表示されます。

**対象になる画像がなかった場合は**

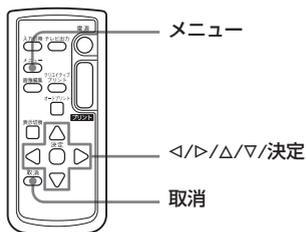
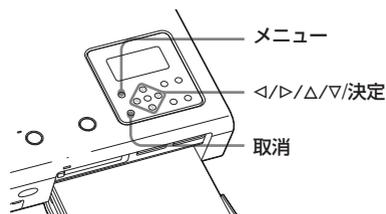
「見つかりませんでした」と表示されます。

**6** 決定ボタンを押す。

- ［フォルダーファイル番号で検索］または［日付で検索］を選んだ場合は、検索された画像が選択されて（オレンジ色枠で）画像一覧画面に表示されます。
- ［フォルダへジャンプ］を選んだ場合は、指定したフォルダの画像一覧画面が表示され、最初の画像にカーソルが当たります。

# プリンター本体を設定する

本体の設定メニューを使って、画像の表示方法など、本機の設定を変更します。

### 本体の設定メニューで使うボタン

**1** **メニューボタンを押す。**

メニューバーが表示されます。

**メニューバーを消して元の画面に戻るには**

メニューボタンを押します。

**2** **◁/▷ボタンで、(本体の設定)を選び、決定ボタンを押す。**

本体の設定メニューが表示されます。

**3** **△/▽ボタンで変更したい項目を選び、◁/▷ボタンで設定を変更し、決定ボタンを押す。**

**ご注意**

設定できない項目は選べません。

| 項目 | 設定 | 内容 |
|---|---|---|
| 画像表示順 | 昇順* | 画像一覧画面で画像番号の小さい画像から順に表示します。 |
| | 降順 | 画像一覧画面で画像番号の大きい画像から順に表示します。 |
| サムネイルがない画像の表示方法 | マーク表示* | 画像一覧画面で、サムネイル（見出し用小画像)のない画像を、マーク（アイコン）で表示します。 |
| | 作成して表示 | 画像一覧画面で、サムネイル（見出し用小画像）データがない画像を、本画像で表示します。 |
| 画像情報表示 | 入 | プレビュー表示の時、画像の情報（ファイルタイプ、撮影情報など）を表示します。 |
| | 切* | プレビュー表示の時、画像の情報を非表示にします。 |

*: 工場出荷時の設定

**操作を取り消すには**

取消ボタンを押すと、設定前の状態に戻ります。

いろいろなプリントを楽しむ（テレビ出力モード）

# カメラから操作してプリントする

本機とPictBridge対応のデジタルカメラをつなぎ、デジタルカメラ側で操作しながらプリント操作ができます。

**始める前に**

「準備する」の1から4の準備（15〜19ページ）の準備が必要です。

**1 PictBridge対応のデジタルカメラを、PictBridge対応プリンターとの接続モードに設定する。**

接続前に必要な設定や操作方法は、デジタルカメラによって異なります。デジタルカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。（サイバーショットをご使用の場合は、USB接続を「PictBridge」に設定します。）

**ご注意**

DSC-T1をお使いの場合は、DSC-T1のソフトウェアのバージョンのアップデートが必要です。詳しい情報は、www.sony.co.jp/support-di/にてご案内しております。

**2 本機の電源をつなぐ。（21ページ）**

**3 本機の電源ボタンを押して電源を入れる。（25ページ）**

電源ランプが緑に点灯します。

**4 本機をPictBridge対応のデジタルカメラにつなぐ。（24ページ）**

本機のPictBridge/CAMERA端子にPictBridge対応のデジタルカメラを接続すると、本機の表示部に「PictBridgeカメラと接続されています。」と表示されます。

**5 デジタルカメラ側から操作してプリントを行う。**

本機では、以下のプリントモードに対応しています。

- シングル画像のプリント
- ALLプリント
- INDEXプリント
- DPOFプリント
- フチ有／無プリント
- 日付プリント

プリント中のご注意については27ページも併せてご覧ください。

**ご注意**

- PictBridge対応のデジタルカメラと接続している間にプリントカートリッジを入れ換えた場合は、正常にプリントされないことがあります。もう一度接続しなおしてください。
- デジタルカメラから何も設定せずにプリントした場合は、画質の設定メニューにしたがってプリントされます。

本機とパソコン(Windows PC)をつなぎ、付属のソフトウェアをパソコンにインストールすると、パソコンの画像をプリントできます。ここでは、付属のプリンタードライバーとソフトウェアPictureGear Studioのインストール方法、パソコンと本機との接続方法、PictureGear Studioを使ったプリント方法について説明します。パソコンのマニュアルもご覧ください。
なお、付属のソフトウェアのインストールは、本機を初めてパソコンに接続するときのみ必要です。

**付属のCD-ROMについて**
付属のCD-ROMには、以下のソフトウェアのインストーラーが入っています。

- DPP-FP50プリンタードライバー
  DPP-FP50について記述したドライバーソフトウェアで、DPP-FP50を使ってパソコンからプリントできるようになります。
- PictureGear Studio(ピクチャーギア・スタジオ)
  静止画の取り込みから、管理・加工・出力までを一括して行えるソニーオリジナルソフトウェアです。

**PictureGear Studioの商標、著作権について**

- 各種デザイン素材の著作権について
  このソフトウェアに含まれるデザインの著作権はソニー株式会社あるいは株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズにあり、商用に使用することは著作権法上禁止されております。
- 写真などの著作権物は個人的、またはこれに準ずる限られた範囲内で使用するため以外の目的でコピーすることは禁じられています。
- その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標または登録商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

# ソフトウェアをインストールする

## 必要なシステム構成

付属のプリンタードライバーとソフトウェアPictureGear Studioをお使いになるには、以下の動作環境を満たしたパソコンが必要です。

OS: Windows® XP Professional/Windows® XP Home Edition/Windows® XP Media Center Edition/Windows® 2000 Professional/Windows® Millennium Edition/Windows® 98 Second Editionを標準インストールしたIBM PC/AT互換機専用です。(日本語版のみ)(Windows® 95、Windows® 98 Gold Edition、Windows® NT、Windows 2000のその他のバージョン(Serverなど)では動作保証いたしません。)

CPU: Pentium III 500MHz以上

RAM: 128MB以上
(Pentium III 800MHz 以上、256MB以上を推奨)

ハードディスクの空き容量:
200MB 以上(Windowsのバージョンによってはそれ以上使用する場合があります。また写真データを扱うための領域がさらに必要です。)

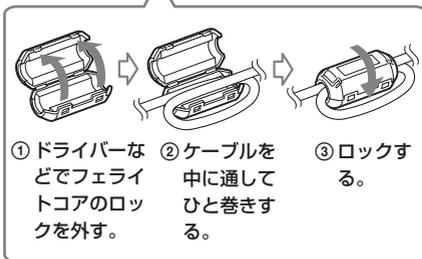
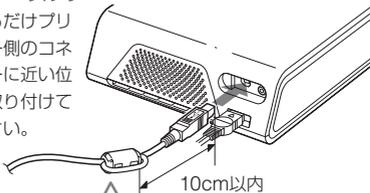
ディスプレイの設定について:
画面の解像度: 800x600 ピクセル以上
画面の色 : High Color (16 ビット) 以上

次のページにつづく

**ご注意**

- 1台のパソコンに複数のUSB接続(他のプリンターを含めて)をした場合、またはハブを使用している場合は、不具合が発生することがあります。その場合は、接続を簡素化して使用してください。
- 同時に使用するUSB機器から本機を操作することはできません。
- データ通信中やプリント中はUSBケーブルを抜き差ししないでください。プリントが正常にできません。
- 本機はパソコンのサスペンド、およびハイバネーションモードには対応していません。印刷中にお使いのパソコンを上記モードに切り換えないでください。
- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

### フェライトコアの取り付け方法

お使いのUSBケーブルの本機に接続する端子(B-TYPE)側にフェライトコアが付いていない場合は、VCCI規格に適合させるために、必ず付属のノイズ防止用フェライトコアをUSBケーブルに下図のように取り付けてからお使いください。
フェライトコアを取り付けないで使用すると、他の電子機器に輻射ノイズの影響が出ることがあります。

**ご注意**

接続には、市販の長さ3m未満のA-B TYPEのUSB対応のUSBケーブルをお使いください。ただし、パソコンによっては異なる場合がありますのでお使いのパソコンをご確認ください。

## プリンタードライバーをインストールする

**1 まだパソコンと本機は接続しないでください。**

**ご注意**

この段階でパソコンと本機を接続すると下記の画面が表示されます。

- Windows 98SE/Meの場合:新しいハードウェアの追加ウィザード
- Windows 2000/XPの場合:新しいハードウェアの検索ウィザードの開始

その場合は、接続をいったん外してから[キャンセル]をクリックしてください。

**2 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。**

- Windows 2000 Professionalをお使いの場合は、「Administrator」(管理者権限)または「Power user」(標準ユーザー権限)でログオンしてください。
- Windows® XP Professional/Windows® XP Home Edition/Windows® XP Media Center Editionをお使いの場合は、 コンピュータの管理者権限でログオンしてください。

**ご注意**

- セットアップを始める前に他のプログラムはすべて終了させてください。
- ここでは、Windows XP Professionalでの画面を使って説明します。OSの種類によって、画面表示や操作方法が異なることがあります。

**3 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。**

CD-ROMが起動して、インストール画面が表示されます。

**ご注意**
CD-ROMが自動的に起動しない場合は、CD-ROM内のSetup(.exe)をダブルクリックしてください。

**4** **[プリンタードライバーのインストール] をクリックする。**

「Sony DPP-FP50 セットアップへようこそ」ダイアログボックスが表示されます。

**5** **[次へ] をクリックする。**
「使用許諾契約」ダイアログボックスが表示されます。

**6** **内容を良くお読みになり、同意する場合は [使用許諾契約の全条項に同意します] にチェックし、[次へ] をクリックする。**
[使用許諾契約の条項に同意しません] を選択した場合、インストールできません。

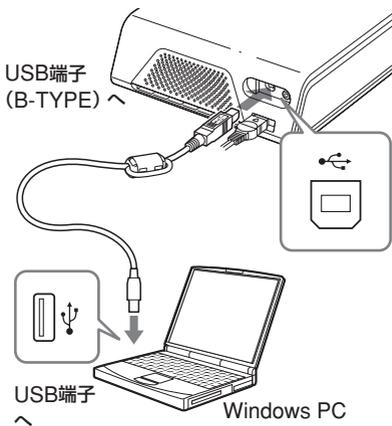
「インストール準備の完了」ダイアログボックスが表示されます。

**7** **[インストール] をクリックする。**
「プリンターの接続」ダイアログボックスが表示されます。

**8** **本機をAC電源につなぐ。(21ページ)**

**9** **本機の電源ボタンを押して電源を入れる。(25ページ)**
電源ランプが緑に点灯します。

**10** **[次へ] をクリックする。**

**11** **パソコンと本機をUSBケーブルで接続する。**
本機とパソコン(Windows PC)のUSB端子を、市販のUSBケーブルで接続します。

**ご注意**
プリント中、プリントペーパーが何度か排紙口から出てきます。USBケーブルで排紙口をふさがないようにご注意ください。

次のページにつづく

本機の表示窓に「パソコンと接続されています。」と表示され、自動的にインストールが開始され、「InstallShield Wizardの完了」ダイアログボックスが表示されます。

**12 [完了]をクリックする。**

インストールが完了しました。

コンピュータの再起動を要求されることがあります。その場合は、お使いのOSの指示に従ってコンピュータの再起動を行ってください。

**13 • インストールを終了する場合は、[終了]をクリックし、CD-ROMをパソコンから取り出し保管する。**

**• 引き続きPicutreGear Studioをインストールする場合は、[PicutreGear Studioのインストール]をクリックし、70ページ手順3以降にしたがって操作する。**

**ご注意**

- インストールの途中でプリンタードライバーのCD-ROMを要求された場合は、下記の場所を指定してください。
  - −Windows 98SE/Me:「D:/Driver/win98.me」
  - −Windows 2000/XP:「D:/Driver/win2000.xp」

  「D:」はご使用のコンピュータのCD-ROMドライブ名に置き換えてください。
- インストールがうまくいかない場合は、本機をパソコンから外して、パソコンを再起動してから、手順3からやり直してください。
- インストール後、「Sony DPP-FP50」は通常使うプリンターには設定されていません。お使いになるアプリケーションソフトでそれぞれ設定を行ってください。
- 付属のCD-ROMは、再インストールやアンインストールで使用することがありますので、終了したら、CD-ROMドライブから取り出し、大切に保管してください。
- 本機をお使いになる前に、Readmeファイル(CD-ROM内のReadmeフォルダ➔Japaneseフォルダ➔Readme.txt)を良くお読みください。

### インストールを確認するには

[コントロールパネル]から[プリンタとFAX](Windows® XP Professional/Windows® XP Home Edition/Windows® XP Media Center Editionのみ)または[プリンタ]を開き、「Sony DPP-FP50」が表示されていれば、正常にインストールされています。

### プリンタードライバーを削除する

プリンタードライバーが不要になった場合は、次の手順で、アンインストールを行い、ハードディスクから関連するファイルを削除します。

**1 本機とパソコンのUSBケーブルを外す。**

**2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。**

CD-ROMが起動して、インストール画面が表示されます。

**ご注意**

CD-ROMが自動的に起動しない場合は、CD-ROM内のSetup(.exe)をダブルクリックしてください 。

**3 [プリンタードライバーのインストール]をクリックする。**

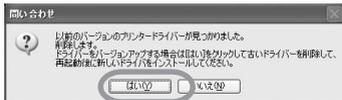
「Sony DPP-FP50 セットアップへようこそ」ダイアログボックスが表示されます。

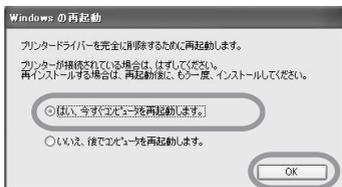
**4** **［次へ］をクリックする。**

「使用許諾契約」ダイアログボックスが表示されます。

**5** **［使用許諾契約の全条項に同意します］にチェックし、［次へ］をクリックする。**

削除確認のダイアログボックスが表示されます。

**6** **［はい］をクリックする。**

再起動確認のダイアログボックスが表示されます。

**7** **［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］をチェックして、[OK]をクリックする。**

再起動後、関連のファイルは削除され、アンインストール完了です。

**アンインストールを確認する**

［コントロールパネル］から［プリンタとFAX］（Windows® XP Professional/Windows® XP Home Edition/Windows® XP Media Center Editionのみ）または［プリンタ］を開き、「Sony DPP-FP50」の表示がなければ、正常にアンインストールされています。

## PictureGear Studioをインストールする

**1** **パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。**

- Windows 2000 Professionalをお使いの場合は、「Administrator」（管理者権限）または「Power user」（標準ユーザー権限）でログオンしてください。
- Windows® XP Professional/Windows® XP Home Edition/Windows® XP Media Center Editionをお使いの場合は、 コンピュータの管理者権限でログオンしてください。

**ご注意**

- セットアップを始める前に他のプログラムはすべて終了させてください。
- ここでは、Windows XP Professionalでの画面を使って説明します。OSの種類によって、画面表示や操作方法が異なることがあります。

**2** **付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。**

CD-ROMが起動して、インストール画面が表示されます。

**ご注意**

- CD-ROMが自動的に起動しない場合は、CD-ROM内のSetup(.exe)をダブルクリックしてくだい。
- PicutreGear Studio Ver.2.0のインストール時、コンピュータの環境によっては、Microsoft Data Access Component 2.7とJet1.0のインストールが必要な場合があります。これらは自動的に検出されますので画面の手順に従ってインストールを行ってください。

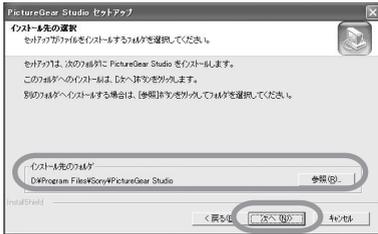
次のページにつづく

**3** **［PictureGear Studioのインストール］をクリックする。**

PictureGear Studioのインストールウィザードが起動します。

**4** **［次へ］をクリックする。**

「インストール先の選択」ダイアログボックスが表示されます。

**5** **インストール先を確認し、[次へ]をクリックする。**

「PictureGear Studio メディア監視ツール」ダイアログボックスが表示されます。

**6** **「メディア監視ツール」を登録する場合は、［メディア監視ツールをスタートアップに登録］のチェックボックスをチェックして、［OK］をクリックする。**

「ウィザードの完了」ダイアログボックスが表示されます。

**「PictureGear Studioメディア監視ツール」とは？**

PictureGear Studioメディア監視ツールは、Windows XP以外のオペレーティングシステムが搭載されているコンピュータにPictureGear Studioをインストールしている場合に、写真が保存されている機器やメディアのコンピュータへの挿入を検出するプログラムです。

インストール時の設定は、下記の手順で変更することができます。

*1* PictureGear Studioインストール後に、［スタート］メニューから、［すべてのプログラム］－［PictureGear Studio］－［ツール］－［メディア監視ツール］をクリックして、PictureGear Studioメディア監視ツールを起動します。

*2* タスクバーのPictureGear Studioメディア監視ツールのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから［設定］をクリックします。

*3* ［メディア監視ツールをログオン時に自動的に起動する］の設定を変更します。登録したい場合は、チェックを付け、登録を取消したい場合はチェックを外します。

**7** **Readmeファイルを確認するには、［Readmeファイルを確認します。］にチェックを付けて、［完了］をクリックする。**

- ［Readmeファイルを確認します。］にチェックを付けた場合は、Readmeファイルが表示されます。Readmeファイルのウィンドウを閉じると、自動的にPictureGear Studioのインストール画面も閉じます。

- ［Readmeファイルを確認します。］にチェックを付けなかった場合は、PictureGear Studioのインストール画面が閉じます。

**8** **付属のCD-ROMをパソコンから取り出し保管する。**

**ご注意**

- インストールがうまくいかない場合は、手順2からやり直してください。
- 付属のCD-ROMは、再インストールやアンインストールで使用することがありますので、終了したら、CD-ROMドライブから取り出し、大切に保管してください。
- Sony DPP-FP50付属のPitureGear Studioでは、下記の制限があります。
  - –「フォトコレクション」では、「ソニー」以外の「用紙」への印刷はできません。
  - –「プリントスタジオ」での「ラベル」の作成および印刷はできません。
  - –「プリントスタジオ」での「シール・名刺・カード」の作成および印刷はできません。
  - –「プリントスタジオ」での「はがき」の一部のデザイン印刷はできません。

  上記の制限をなくして、VAIOやCLIEバンドルのバージョンと同等にするには、CD-ROM内の「pgs.add」フォルダーの「Setup(.exe)」を実行してください。

## PictureGear Studioをアンインストールする

PictureGear Studioが不要になった場合は、次の手順で、アンインストールを行い、ハードディスクから関連するファイルを削除します。

**1** **本機とパソコンのUSBケーブルを外す。**

**2** **付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。**

CD-ROMが起動して、インストール画面が表示されます。

**3** **［PictureGear Studioのインストール］をクリックする。**

削除確認のダイアログボックスが表示されます。

**4** **[はい]をクリックする。**

関連のファイルが削除されます。

**5** **[完了]をクリックする。**

コントロールパネルからもPictureGear Studioをアンインストールをすることができます。
［コントロールパネル］から［アプリケーションの追加と削除］を開き、PictureGear Studioを選び、削除します。

# PictureGear Studioから写真をプリントする

PictureGear Studioを使って、パソコンからポストカードサイズまたはＬサイズのプリントペーパーにプリントできます。

**1** **Windowsの［スタート］メニューの［プログラム］(または［すべてのプログラム］）から、［PictureGear Studio］を起動する。**

「PictureGear Studio」ダイアログボックスが表示されます。

**2** **［写真を管理する］をクリックする。**

「フォトコレクション」ダイアログボックスが表示されます。

**3** **プリントしたい画像の入っているフォルダをクリックする。**

ここでは「サンプル」フォルダを使って説明します。

**4** **［焼き増し］をクリックする。**

**ご注意**

ポップアップメニューが表示される場合は、［プリンタで印刷する(P)］を選択してください。

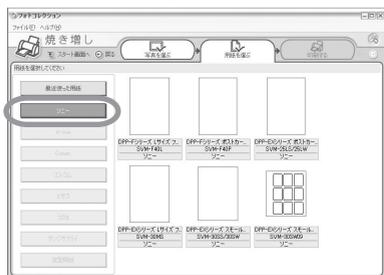
「焼き増し」ダイアログボックスが表示されます。

**5** **プリントしたい写真を選択し、枚数を指定してから［決定］をクリックする。**

「用紙を選ぶ」ダイアログボックスが表示されます。

**ご注意**

枚数の設定はこの画面で行ってください。プリンタードライバーの［用紙/出力］タブ画面で指定してもプリント枚数に反映されません。

**6** **［ソニー］を選び、お使いになるFシリーズの用紙サイズと同じものを選択する。**

- ポストカードサイズ（SVM-F40P DPP-Fシリーズ）
- Lサイズ（SVM-F40L DPP-Fシリーズ）

**ご注意**

- DPP-Fシリーズ以外の用紙を選択した場合、正常なプリント結果が得られません。
- 同梱のカラープリントパックを使用する場合は、Pサイズ（SVM-F40P DPP-Fシリーズ）を選択してください。

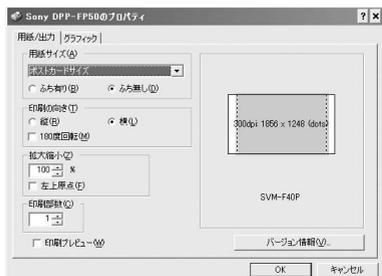
用紙を選ぶと、「印刷する」ダイアログボックスが表示されます。

**7 ［プリンター］ドロップダウンリストから［Sony DPP-FP50］を選び、［詳細設定］をクリックする。**

実際にお使いになっているプリンターを選択してください。

| 項目 | 設定内容 |
| --- | --- |
| 全ページを印刷 | 「写真を選ぶ」ダイアログボックスで設定した画像すべてを印刷します。 |
| 現在表示中のページを印刷 | 印刷プレビューに表示されている画像を印刷します。 |
| プリンタ | ［DPP-FP50］を選択してください。 |
| ふちなし印刷をする | ●チェックを付けた場合：画像の周りに余白を残さずプリントします。<br>●チェックを外した場合：画像の周りに余白を残してプリントします。 |
| Exif Printで印刷をする | ●チェックを付けた場合：Exif Print(Exif2.21)規格対応のデジタルカメラで撮影された画像は、自動的に最適な画像に調整されてプリントされます。<br>**ご注意**<br>画面に表示される画像は補正されません。<br>●チェックを外した場合：画像を補正せずにそのままプリントします。<br>**ご注意**<br>チェックを外しても［色再現/画質］の設定はオートファインプリント3のままです。［色再現/画質］の設定を変更したい場合には［詳細設定］の手順にしたがって変更してください。 |
| 詳細設定 | プリント方向や、画質設定など詳細の設定を行います。 |

［詳細設定］をクリックすると、選択したプリンターのプロパティ画面が表示されます。

**8 ［用紙/出力］タブで、用紙サイズなどを設定する。**

**［用紙/出力］タブ**

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| 用紙サイズ | ドロップダウンリストから用紙サイズを選びます。<br>●**ポストカードサイズ**<br>●**Lサイズ**<br>いずれかにチェックを付け、ふちの有無を選びます。<br>●**ふち有り**：画像の周りに余白を残さずプリントします。<br>●**ふち無し**：画像の周りに余白を残してプリントします。 |
| 印刷の向き | 画像に合わせて印刷の向きを選びます。<br>• **縦**<br>• **横**<br>• **180度回転**<br>**ご注意**<br>お使いになるアプリケーションソフトによっては、縦、横の設定を変更しても、同じプリント結果となる場合があります。 |
| 印刷部数 | 矢印ボタンをクリックするか、または数値を入力し、印刷する枚数を設定します。<br>**ご注意**<br>お使いになるアプリケーションソフトによってはアプリケーションソフトで設定した値が優先されます。 |
| 拡大縮小 | 矢印ボタンをクリックするか、または数値を入力し、画像の拡大縮小率の設定をします。<br>［左上原点］チェックボックスで拡大、縮小時の原点を設定することができます。<br>● チェックを外した場合：用紙の中心を原点にして画像を拡大、縮小します。通常はチェックは外してお使いください。<br>● チェックを付けた場合：用紙の左上を原点にして拡大、縮小します。お使いのアプリケーションソフトによってはチェックが必要になる場合があります。<br>チェックを外すと正常なプリント結果が得られない場合にはチェックしてください。 |
| 印刷プレビュー | 印刷を行う前にプレビュー表示を行う場合にチェックを付けます。 |

**9 ［グラフィック］タブで画質を設定する。**

## [グラフィック] タブ

**項目　設定内容**

色再現/画質

左のドロップダウンリストから色再現、画質を選びます。

- **なし**：画像を補正せずにそのままプリントします。
- **オートファインプリント3**：右の［設定］から次のいずれかの補正方法を選びます。
  - **写真**：画像を自動的に補正し、自然できれいにプリントします。（推奨）
  - **鮮やか**：画像を自動的に補正し、［写真］モードよりもさらに鮮やかにプリントします。
- **ICM(システム)**:右の［設定］から次のいずれかの補正方法を選びます。
  - **グラフィック**：グラフや鮮やかな色を使用している場合
  - **一致**：なるべく色を合わせたい場合
  - **写真**：写真や絵を印刷する場合

**ご注意**

ICMの設定は、ICMに対応しているアプリケーションソフトにのみ対応しています。対応していないアプリケーションソフトから印刷した場合、色が正しくないことがあります。

Exif Print

Exif Print(Exif2.21)規格対応のデジタルカメラで撮影された画像の場合、プリンタードライバーがプリンター独自の色変換やExifの撮影情報を利用した画像処理を行います。この機能はPicutreGear Studioでのみ有効です。

赤目の補正

フラッシュをたいて撮影した画像で、被写体の目が赤く写っているのを自動補正することができます。

**ご注意**

- 赤目の補正を行う場合は、［用紙/出力］タブで［印刷プレビュー］にチェックを付け、印刷前に必ず補正が完了しているかどうか確認を行ってください。

次のページにつづく

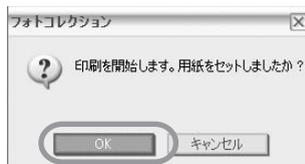
| 項目 | 設定内容 |
| --- | --- |
| | ● 赤目の検知は自動的に行われるため、補正できない場合もあります。補正ができない場合は、PicutureGear Studioの補正機能をお試しください。<br>● ［赤目の補正］は付属のCD-ROMの「Setup.exe」からインストールした場合のみ利用可能になります。詳しくはReadmeファイルをご覧ください。 |
| プリンタ画質 | スライダーをドラッグするか数値を入力して、プリントの色あいとシャープネスを調整します。<br>● **赤**：赤と水色の成分を調整します。値を大きくするとと赤味が増し、値を小さくすると暗くなり水色を加えたようになります。<br>● **緑**：緑と赤紫の成分を調整します。値を大きくすると緑味が増し、値を小さくすると暗くなり赤紫色を加えたようになります。<br>● **青**：青と黄色の成分を調整します。値を大きくすると青味が増します。値を小さくすると暗くなり黄色を加えたように青味が落ちます。<br>● **シャープネス**：値を大きくすると、輪郭がくっきりします。 |

**10** **[OK]をクリックします。**

「印刷する」ダイアログボックスが再び表示されます。

**11** **［全ページを印刷］または［現在表示中のページを印刷］をクリックする。**

印刷の確認画面が表示されます。

**12** **手順6で選んだプリントペーパーとプリントカートリッジがセットされていることを確認して、［OK］をクリックする。**

印刷の準備が開始します。

**手順8で［印刷プレビュー］をチェックしていたときは**

プレビュー画面が表示されます。補正結果などを確認し、［プリント］をクリックします。

印刷が開始します。プリント中のご注意については27ページも併せてご覧ください。

### 印刷を中止するには

**1** **タスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックして、プリンタダイアログボックスを開く。**

**2** **キャンセルしたいドキュメント名をクリックし、メニューの［ドキュメント］－［キャンセル］を選択する。**

削除確認ダイアログボックスが表示されます。

**3** **[はい]をクリックする。**

印刷ジョブが取り消されます。

**ご注意**

印刷中のジョブは削除しないでください。紙づまりの原因になることがあります。

## 市販のアプリケーションソフトからプリントする

「印刷」画面の［プリンター］の項目で［DPP-FP50］を選択し、ページ設定で用紙の選択などの設定を行うことによって、市販のアプリケーションソフトからもプリントできます。

ページ設定画面の詳細については、「PictureGear Studioから写真を印刷する」の手順8、9をご覧ください。

### ［用紙サイズ］の［ふちなし印刷をする］の設定について

PicutreGear Studio以外のアプリケーションソフトでは、「Sony DPP-FP50のプロパティ」の［用紙/出力］タグで［用紙サイズ］を［ふち無し］に設定しても、ふちありでプリントされてしまうことがあります。

この項目を有効に設定した場合、アプリケーションソフト側に、ふち無しで印刷できる範囲の情報が供給されますが、アプリケーションソフトによっては、その範囲でふちがつくようにレイアウトして印刷するものがあるためです。

この場合は、以下のいずれかの方法で印刷してください。

- 設定があるアプリケーションソフトでは、画像が印刷範囲をはみ出しても印刷範囲いっぱいに印刷するように設定します。
  たとえば、画像とFAXビューアーの印刷ウィザードの設定では、［フルページ写真プリント］を選択します。

次のページにつづく

- 「Sony DPP-FP50のプロパティ」の［用紙/出力］タブの［拡大縮小］の値を大きくします。
  [拡大縮小]の値を大きくしても用紙の右側と下側に余白が残る場合は、[左上原点]をチェックしてください。

どちらの方法でも、印刷前にプレビュー画像を表示して確認してください。

**印刷の向きの設定について**

お使いのアプリケーションソフトによっては、縦、横の設定を変更しても、同じプリント結果になる場合があります。

**ふち有り、ふち無しの設定について**

お使いのアプリケーションソフトにふち有り、ふち無しの設定がある場合、プリンタードライバーは「ふち無し」に設定することをお勧めします。

**印刷枚数の設定について**

使用するアプリケーションソフトによってはアプリケーションソフトで設定した値が優先されます。

**[グラフィック］タブの設定について**

［色再現/画質］の［Exif Print］項目は、PictureGear Studioのみに対応しています。この項目を設定し、他のアプリケーションソフトから印刷した場合、色が正しくないことがあります。その場合は、チェックを外してください。

# 故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

## 電源

| 症状 | チェック項目 | 対処方法 |
|---|---|---|
| **電源が入らない。** | • 電源プラグが正しく差し込んでありますか? | →正しく接続してください。（→21ページ） |

## 画像を表示する（テレビ出力モードのみ）

「プリンタの電源は入っているが印刷が始まらない。」または、「操作画面の設定ができない。」

こんな時は以下のチェック項目を確認してください。

| 症状 | チェック項目 | 対処方法 |
|---|---|---|
| **TVに画像が表示されない。** | • 本機の表示窓に「PictBridgeカメラと接続されています。」または「パソコンと接続されています。」と表示されていませんか? | → 入力切換ボタンを押して［Memory Stick］("メモリースティック")、［SD Card］（SDカード）、［CompactFlash］（コンパクトフラッシュカード）を表示させます。（→ 25ページ） |
| | • テレビ画面に「LCD表示モードに設定されています。」と表示が出ていませんか? | → テレビ出力ボタンを押して、本機の画像をテレビ画面に表示してください。（→ 25ページ） |
| | • テレビ画面に何らかのメッセージ（エラーの内容と対処法）が表示されていませんか? | → 表示されている場合は、メッセージに従ってトラブルを解決してください。（→ 91ページ） |
| | • メモリーカードや外部機器は正しく接続されていますか? | → 正しく接続してください。（→22～24ページ） |
| | • メモリーカードにはデジタルカメラなどで保存した画像が入っていますか?<br>また、外部機器には画像が保存されていますか? | → 画像の入っているメモリーカードまたは外部機器を接続してください。 |



次のページにつづく

| 症状 | チェック項目 | 対処方法 |
| --- | --- | --- |
| **一部の画像が表示されない。表示されているのにプリントできない。** | ● 画像一覧画面で画像が表示されていますか? | ➔ 画像が表示されているのにプリントできない場合は、プリントするための画像ファイルが壊れています。<br>➔ メモリーカードまたは外部機器内に再生できる画像が記録されていない場合は、画面に「画像ファイルがありません」と表示されます。<br>➔ DCFに準拠していないファイルはパソコンで表示できても、本機ではプリントできない場合があります。 |
| | ● 画像一覧画面で、下のマークが表示されていますか?<br>● パソコンのアプリケーションで作成した画像ではありませんか? | ➔ 左のマークが表示されている場合は、パソコンで作成したJPEGファイルなど、本機が対応していない画像ファイルか、対応している画像ファイルでも、サムネイルと呼ばれている表示用の画像データ部分がない画像ファイルです。このマークを選択し、表示切換ボタンを押し、プレビュー表示にして画像が表示されれば、プリントは可能です。プレビュー表示にしても、左のマークが表示される場合は本機で対応できない画像ファイルのため、プリントはできません。 |
| | ● 画像一覧画面で、下のマークが表示されていますか? | ➔ 左のマークが表示されている場合は、本機が対応している画像ファイルですが、サムネイルと呼ばれている表示用の画像データが開けないか、または本画像が開けません。このマークを選択し、表示切換ボタンを押し、プレビュー表示にして画像が表示されれば、プリントは可能です。プレビュー表示にしても、左のマークが表示される場合はプリントはできません。 |
| | ● メモリーカードまたは外部機器内の画像枚数が9,999枚を超えていませんか? | ➔ 本機で再生、プリント、記録、消去など、扱える画像ファイル数は最大で9,999枚です。メモリーカードまたは外部機器内に9,999枚を超える画像ファイルが保存されている場合は、PCモードまたはPictBridgeモードをお使いください。 |
| | ● パソコンなどでファイル名を変更しましたか? | ➔ パソコンでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に英数字以外の文字が含まれていると、本機で画像が表示できない(リードエラーになる)場合があります。 |
| | ● 画像一覧画面で、プリント枚数は設定されていますか? | ➔「複数の画像をプリントする」の手順で画像を選択した場合、黄色い枠がついていても、プリント枚数が設定されていないとプリントされません。決定ボタンを押して、プリント枚数を設定してください。(➡ 28ページ) |
| | ● メモリーカードまたは外部機器内の8階層以上のフォルダがありませんか? | ➔ 8階層以上のフォルダ内にある画像データは、本機では表示できません。 |

| 症状 | チェック項目 | 対処方法 |
|---|---|---|
| **ファイル名が正しく表示されない。** | ● パソコンなどでファイル名を変更しましたか? | → パソコンでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に英数字以外の文字が含まれていると、本機でファイル名が正しく表示されない場合があります。また、パソコンなどで作成したファイルは、ファイル名の最初の8文字が表示されます。 |
| **画像編集でプレビュー画面に上下の余白ができる。** | ● 極端に縦長または横長の画像ではありませんか? | → 極端に縦長または横長の画像は、画像編集の際、比率の関係で上下に余白が生じることがあります。<br>→ デジタルカメラで撮影した画像の縦横比は一般的に3：4ですが、ポストカードサイズやLサイズで編集、保存した場合、画像はそれぞれの用紙サイズに合わせて3：4よりも横長のプリントイメージとして保存されるため、上下が一部カットされます。そのため、一覧表示ではカットされた上下部分が黒く表示されます。 |

## プリントする

プリントペーパーをペーパートレイに入れて印刷を実行すると、給紙されない、複数枚重なって給紙される、斜めに給紙される、こんな時は以下のチェック項目を確認してください。

| 症状 | チェック項目 | 対処方法 |
|---|---|---|
| **給紙されない。** | ● プリントペーパーはペーパートレイに正しく入っていますか? | → プリントペーパーが正しく入っていないと、故障の原因になります。以下の項目についてチェックしてください。<br>● 正しい組み合わせのプリントペーパーとプリントカートリッジが入っていますか?(➡ 15ページ)<br>● プリントペーパーは、正しい向きで入っていますか?(➡ 18ページ)<br>● 入っているプリントペーパーの量が多すぎませんか?(➡ 18ページ)<br>● Lサイズのプリントペーパーをお使いの場合、トレイアダプターは正しくセットしましたか?(➡18ページ)<br>● プリントペーパーをよくさばきましたか?<br>● プリントする前にプリントペーパーを折ったり曲げたりしていませんか? |



次のページにつづく

| 症状 | チェック項目 | 対処方法 |
|---|---|---|
| **給紙されない。** | ● 本機で使用できないプリントペーパーをお使いではありませんか? | → 指定されたプリントペーパーをお使いください。指定外のプリントペーパーを使用すると、故障の原因になります。(→ 15ページ) |
| | ● プリントペーパーがつまっていませんか? | → プリントペーパーが給紙されない時は表示窓にペーパーエラー表示 ( ) が点灯し、テレビ出力時にはエラーメッセージが表示されます。いったん本機からトレイを抜いてプリントペーパーがつまっていないか確認してください。 |
| **プリント中にプリントペーパーの端が出てくる。** | ● プリントの途中ではありませんか? | → プリントの途中には、プリントペーパーの端が一時的に何度か出てきます。アクセスランプが消え、プリントペーパーが自動的に排出されるまで引っ張り出さないでください。 |

## プリント結果

| 症状 | チェック項目 | 対処方法 |
|---|---|---|
| **プリント画質が悪い。** | ● プレビュー画像データをプリントしていませんか? | → ご使用のデジタルカメラの種類によっては、画像の一覧表示で本画像データの他にプレビュー画像データなどが表示される場合があります。このプレビュー画像データなどをプリントした場合、プリント画質は本画像データをプリントしたときに比べ低下します。また、画像を消去する場合は、プレビュー画像データを削除すると本画像データが開けなくなる場合がありますので、データ内容について確認してください。 |
| | ● 画像サイズの縦または横が480ドット以下の画像をプリントしていませんか?<br>画像一覧画面で下のように表示されていませんか? | → 画像一覧画面で左のように表示されている画像は、画像サイズが小さいため、プリントは粗くなります。<br>→ お使いのデジタルカメラの画像サイズの設定を変更してください。 |
| | ● 画像編集で画像を拡大していませんか? | → 拡大した場合は、画像サイズによっては画質が低下することがあります。 |
| | ● プリント面に埃や指紋などが付着していませんか? | → プリントペーパーの取扱い時、プリント面(何も印刷されていないつやのある面)には触れないようにしてください。プリント面に埃や指紋などが付着すると、きれいにプリントできないことがあります。 |

| 症状 | チェック項目 | 対処方法 |
| --- | --- | --- |
| **プリント画質が悪い。** | ● 一度使用したプリントペーパーやプリントカートリッジを使用していませんか? | ➔ 一度使用したプリントペーパーまたは、プリントカートリッジでプリントしないでください。同じ画像を重ねてプリントしても、濃くならないばかりか、故障の原因になります。 |
| | ● RAWモードで撮影しませんでしたか? | ➔ RAWモードで撮影した場合は、同時に圧縮率の高いJPEGファイルが記録されている可能性があります。本機は、RAWファイルに対応していないため、JPEGファイルの方を印刷してしまいます。RAWファイルは、一般的には、パソコンを使用すれば印刷可能です。RAWファイルをパソコンを使用して印刷する方法は、ご使用のデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。<br>**RAWファイルとは?**<br>撮影したデータを圧縮せずに独自のフォーマットで保存したものです。RAWファイルで保存可能かどうかは、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。 |
| | ● DCF2.0に対応していないAdobeRGB対応のデジタルカメラを使って、AdobeRGBモードで撮影しませんでしたか? | ➔ DCF2.0に準拠しているAdobeRGBの画像ファイルは、色補正を行いますが、DCF2.0に準拠していないAdobeRGBのファイルを印刷した場合は、色が薄く印刷されます。<br>**AdobeRGBとは?**<br>Adobe社が採用し、Photoshopなどの画像編集ソフトウエアにデフォルト設定している色空間です。また、DCF2.0で拡張されたオプション色空間で、印刷業界で多く使用されている色域を定義した色空間です。AdobeRGBに対応しているかどうかは、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。 |
| **画面に表示される画像と実際にプリントされる画像の画質または色が異なっている。** | | ➔ 発色方法の違いやテレビ個々の特性の違いによるもので、画面に表示される画像はあくまで目安とお考えください。なお、画質の調整は次の設定で行うことができます。<br>● [メニュー] ─ [画質の設定] ─ [プリンタ画質設定] (➔55ページ)<br>● [メニュー] ─ [画像編集] ─ [画質調整] (設定は、表示されている画像のみ反映されます。) (➔37ページ) |

困ったときは

| 症状 | チェック項目 | 対処方法 |
|---|---|---|
| メモリーカードや外部機器からダイレクトにプリントした場合と、パソコン経由でプリントした場合とでは、プリントイメージが異なる。 | | → 本機内部での処理とパソコンのソフトウェアでの処理の違いもあり、まったく同じにはなりません。 |
| 日付けがプリントされない。 | ● ［日付プリント］設定が「入」になっていますか? | → 「切」の場合、［メニュー］－［画質の設定］－［日付プリント］の設定を「入」に切り換えてください。（➡57ページ） |
| | ● DCFに準拠した画像ファイルですか? | → 本機の［日付プリント］は、DCFに準拠した画像ファイルのみをサポートしています。 |
| 日付けがプリントされてしまう。 | ● ［日付プリント］設定が「切」になっていますか? | → 「入」の場合、［メニュー］－［画質の設定］－［日付プリント］の設定を「切」に切り換えてください。（➡57ページ） |
| | ● デジタルカメラでの撮影時に、日付けも一緒に画像に入っていませんか? | →カメラの設定を変更してください。 |
| 印画範囲いっぱいに印画されない。 | ● ［プリント仕上げ］設定が［フチ無］になっていますか? | → ［フチ有］設定の場合、［メニュー］－［画質の設定］－［プリント仕上げ］の設定を「フチ無」に切り換えてください。（➡56ページ） |
| | ● 画像の縦横比は、合っていますか? | →ご使用のデジタルカメラの種類によっては、記録される画像の縦横比が異なるため、本機の印画範囲いっぱいにプリントされない場合があります。 |
| ［フチ無］プリントに設定しているのにプリントしたら左右に余白が残った。 | ● ［フチ有］モードで編集保存した画像ではありませんか? | → ［フチ有］モードで編集、保存した場合、画像だけでなく余白部分を含めた全体がプリントイメージとして保存されます。そのため、これらの画像を［フチ無］モードでプリントしても、左右に余白が残ります。［フチ無］プリントをする場合は、プリントするペーパーサイズの［フチ無］モードで編集、保存を行ってください。 |
| 画像全体をプリントできない。 | ● プリント仕上げの設定は［フチ有］になっていますか? | → ［フチ有］に設定すると画像全体がプリントされます。 |
| 縦長にプリントされてしまう。 | ● デジタルカメラで回転などの加工をしましたか? | → 撮影した画像に、デジタルカメラで回転などの加工をした場合、カメラの種類によっては縦長にプリントされる場合がありますが、カメラで画像を書き換えたためで本機の故障ではありません。 |

| 症状 | チェック項目 | 対処方法 |
|---|---|---|
| 白いスジやキズが入る。 | | → 付属のクリーニングカートリッジでプリントヘッドなど本機内部のクリーニングをしてみてください。(➡ 94ページ) |
| 画像が暗い、画像が明るい、画像が赤すぎる、画像が黄色すぎる、画像が緑色すぎる。 | | → [メニュー] ー [画像編集] ー [画質調整] で修正してください。(➡ 35ページ) |
| 被写体の目が赤く写っている。 | | → [メニュー] ー [画像編集] ー [赤目の補正] で修正してください。(➡ 38ページ) |
| 赤目の補正ができない。 | | → 補正枠を瞳の大きさの2~7倍に設定し再度補正してください。 |
| | ● [赤目の補正] の後に、拡大･縮小、回転･移動の編集操作を行いませんでしたか? | → [赤目の補正] の後に、拡大･縮小、回転･移動を行うと正しく補正されないことがあります。拡大･縮小、回転･移動の後に [赤目の補正] を行うようにしてください。 |

## 設定する

| 症状 | チェック項目 | 対処方法 |
|---|---|---|
| フチ有/無設定ができない。 | ● クリエイティブプリント機能をお使いですか? | → テンプレートを使用しているため、フチ有/無の選択はできません。 |

## 画像を保存、削除する

| 症状 | チェック項目 | 対処方法 |
|---|---|---|
| 保存できない。 | ● メモリーカードが書き込み禁止になっていませんか? | → 書き込み禁止設定を解除して、再度保存してください。 |
| | ● "メモリースティック"の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていませんか? | → 誤消去防止スイッチを解除してください。(➡96ページ) |
| | ● メモリーカードが一杯になっていませんか? | → 不要な画像を消去してください。(➡ 59ページ) または、充分なメモリー残量のあるメモリーカードに交換してください。 |

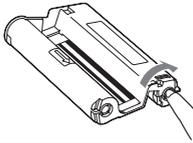


次のページにつづく

| 症状 | チェック項目 | 対処方法 |
| --- | --- | --- |
| 削除できない。 | ● メモリーカードが書き込み禁止になっていませんか? | → 書き込み禁止設定を解除して、再度保存してください。 |
| | ● 画像がプリント予約（DPOF設定）されていませんか? | → デジタルカメラなどでDPOF設定を解除してください。 |
| | ● "メモリースティック"の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていませんか? | → 誤消去防止スイッチを解除してください。（→96ページ） |
| | ● "メモリースティック-ROM"ですか? | → "メモリースティック-ROM"については、画像の削除と初期化はできません。 |
| 誤って消してしまった。 | | → 一度消去したファイルは元に戻せません。 |
| "メモリースティック"を初期化できない。 | ● "メモリースティック"の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていませんか? | → 誤消去防止スイッチを解除してください。（→96ページ） |
| | ● "メモリースティック-ROM"ですか? | → "メモリースティック-ROM"については、画像の削除と初期化はできません。 |
| "メモリースティック"を誤って初期化してしまった。 | | → 初期化すると"メモリースティック"内の画像はすべて消去され、元に戻せません。"メモリースティック"の誤消去防止スイッチが「LOCK」にすると誤初期化を防げます。（→96ページ） |

## その他

| 症状 | チェック項目 | 対処方法 |
| --- | --- | --- |
| プリントカートリッジが上手く入らない。 | | → いったんプリントカートリッジを取り出してから、入れなおしてください。リボンがたるんでうまく入らない場合のみ、カートリッジのスプールを矢印の方向に押しながら回してリボンのたるみを取ってください。（→ 17ページ） |
| プリントカートリッジが取り出せない。 | | → 本機の電源を入れ直してください。回転が止まったらプリントカートリッジを取り出せます。それでも取り出せないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。 |

| 症状 | チェック項目 | 対処方法 |
| --- | --- | --- |
| **用紙がつまった。** | ● 表示窓にペーパー/カートリッジエラー表示（/）が点滅し、テレビ出力時には画面にエラーメッセージが表示されていませんか? | ➜ 用紙がつまっています。93ページの「プリントペーパーがつまったら」の手順に従ってプリントペーパーを取り除いてください。取り除けない場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。 |
| **プリントが途中で止まってしまった。** | ● アクセスランプが緑色に点滅していませんか? | ➜ データ容量が大きく、処理に時間がかかっています。データ処理が終わり次第プリントを開始します。 |
| | ● 表示窓にペーパー/カートリッジエラー表示（/）が点滅していませんか? | ➜ 用紙がつまっています。93ページの「プリントペーパーがつまったら」の手順に従ってプリントペーパーを取り除いてください。取り除けない場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。 |
| | ● いずれのランプも点滅、点灯していませんか? | ➜ いずれのランプも点滅、点灯していない場合：長時間のプリントでプリントヘッドが加熱するのを保護するために、一時的にプリントを停止しています。しばらくするとプリントを再開します。 |

## デジタルカメラなどの外部機器との接続

| 症状 | チェック項目 | 対処方法 |
| --- | --- | --- |
| **カメラの液晶モニターに「PictBridge」マークが表示されない。** | ● ケーブルが正しく接続されていますか? | ➜ ケーブルを正しく接続してください。 |
| | ● 本機の電源は入っていますか? | ➜ 本機の電源を入れてください。 |
| | ● お使いのカメラのファームウェアが本機に対応していますか? | ➜ お使いのデジタルカメラのホームページなどでご確認ください。 |
| | ● 本機の表示窓に「PictBridge カメラと接続しています。」と表示されていませんか? | ➜ メニュー設定中、画像編集メニュー、クリエイティブプリントメニューを操作中には表示されません。一度メニューから抜けて再度ケーブルを挿入してください。<br>➜ デジタルカメラと接続しなおすか、カメラと本機の電源を入れなおしてください。 |
| | ● お使いのデジタルカメラのUSB設定はPictBridgeモードになっていますか？ | ➜ お使いのデジタルカメラのUSB設定をPictBridgeモードに設定してください。 |
| | ● プリント中ではありませんか? | ➜ プリントが終了してから、再度ケーブルを挿入してください。 |

| 症状 | チェック項目 | 対処方法 |
|---|---|---|
| USBケーブルを抜き差ししても何も起こらない。 | ● 「External Device」マークが早く点滅していませんか? | ➔ オーバーカレント（過電流）エラーが発生しました。<br>復帰するには本機の電源をもう一度入れなおしてください。 |
| CANCEL（取消）ボタンを押してもプリントが中止されない。 | | ➔ 現在プリント中の次からのプリントが取り消されます。<br>➔ デジタルカメラによっては、本機の取消操作ではプリントを中止できない場合があります。その場合はデジタルカメラから操作してプリントを中止してください。デジタルカメラに付属の取扱説明書も合わせてご覧ください。 |
| INDEXプリントができない。 | ● 本機の表示窓に「プリントデータを作成できない画像がありました。」と表示されていませんか? | ➔ 本機では、DPOFプリントのINDEXプリントはプリントできません。メモリーカードを直接本機に入れるか（22ページ）、マスストレージ接続（24ページ）でINDEXプリントしてください。 |

## パソコンとの接続

| 症状 | チェック項目 | 対処方法 |
|---|---|---|
| 本機に接続したメモリーカードまたは外部機器の画像がパソコンで見られない。 | | ➔ 本機には、パソコンから本機の"メモリーカードまたは外部機器の画像を読みとる機能はありません。 |
| ドライバCD-ROMを紛失したので入手したい。 | | ➔ ソニーデジタルフォトプリンターホームページ（http://www.sony.co.jp/DPP/）からダウンロードしていただくか、またはお買い上げの販売店にご相談ください。 |

| 症状 | チェック項目 | 対処方法 |
|---|---|---|
| ドライバーがインストールできない。 | ● 手順通りインストールされていますか? | ➔ 取扱説明書の手順に従って、正しくインストールしてください。エラーが発生してインストーラが強制終了した場合は、コンピューターを再起動して再インストールしてください。 |
| | ● 他のアプリケーションを起動していませんか? | ➔ 他のアプリケーションソフトをすべて終了し、もう一度インストールしてください。 |
| | ● インストール用CD-ROMドライブが正しく指定されていますか? | ➔ マイコンピュータをダブルクリックして、開いたウィンドウにあるCD-ROMアイコンをダブルクリックします。以降の操作は、本書67ページをご覧ください。 |
| | ● USBドライバーが正しくインストールされていますか? | ➔ USBドライバーが正しくインストールされていないことがあります。もう一度、取扱説明書に従ってインストールしてください。 |
| | ● エクスプローラでCD-ROMが正しく読めますか? | ➔ インストール用CD-ROMに異常がある場合、エクスプローラでCD-ROMが正しく読めるか確認してください。パソコンにエラー内容などが表示されましたら、そのエラーの原因を取り除き再度プリンタードライバーのインストールを行ってください。パソコンのエラー内容につきましては、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧ください。 |
| | ● ウイルス検知プログラムやシステムに常駐するプログラムがありませんか? | ➔ ウイルス検知プログラムやシステムに常駐するプログラムがある場合、あらかじめ終了してください。終了した後、再度プリンタードライバーのインストールを行ってください |
| | ● Windows XP/2000 Professional へ管理者権限のあるユーザーでログインされていますか? | ➔ Windows XP/2000 Professional にインストールする場合、管理者権限のあるユーザーでログインしてからインストール作業を行ってください。 |
| パソコンから印刷実行指示をしても本機が反応しない。 | | ➔ パソコン画面上にエラーがない状態で本機が反応しない場合は、本機の表示窓を確認してください。<br>エラー表示が出ている場合、以下の操作を行ってみてください。これで直る場合があります。<br>1.本機の電源の入/切を行う。<br>2.本機の電源コンセントを抜く。<br>3.電源コンセントを抜いから5秒～10秒程度放置し、再度電源コンセントを入れる。<br>4.コンピューターを再起動する。<br>上記の操作を行っても問題が解決しない場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターまでご相談ください。 |
| | ●「ドキュメントをUSBに出力するときエラーが見つかりました。」のエラーメッセージが表示される。 | ➔ いったんUSBケーブルを外してから、再度接続し直してください。 |

困ったときは

次のページにつづく

| 症状 | チェック項目 | 対処方法 |
|---|---|---|
| **ふち無しに設定しても、ふち付きでプリントされてしまう。** | ● PictureGear Studio以外のアプリケーションをお使いですか? | → PicutreGear Studio以外のアプリケーションでは、「ふち無しプリント」に設定しても、ふち有りにレイアウトして印刷するものがあります。以下のいずれかの設定をし、印刷前にプレビューを表示して確認してください。<br>－ふち有／無の設定項目があるアプリケーションでは、画像が印刷範囲をはみ出しても印刷範囲いっぱいに印刷するように設定する。<br>－Sony DPP-FP50 プリンタードライバーのプロパティの［用紙/出力］タブの［拡大縮小］の値を大きくする。(→74ページ) |
| **色が正しく表示されない。** | ● プロパティ画面の[グラフィック]タブで「Exif Print」がチェックされていませんか? | →「Exif Print」機能はPictureGear Studioにだけ対応しています。PictureGear Studio以外のアプリケーションから印刷する場合は、チェックを外してください。 |
| | ● プロパティ画面の[グラフィック]タブで[ICM]が設定されていませんか? | → ICMの設定は、ICMに対応しているアプリケーションを使用しないと効果がないことがあります。お使いのアプリケーションが対応しているかどうかご確認ください。 |
| **プロパティ画面の[グラフィック]タブのプリンタ画質で設定した値がプレビューに反映されない。** | | → プリンタ画質の設定では本機の調整を行うため、プレビュー上には反映されません。 |
| **ドライバーの[用紙/出力]タブの印刷部数で設定した枚数と印画結果が違う。** | ● PictureGear Studioをお使いですか? | → 枚数の設定はPictureGear Studioの焼き増し画面で行ってください。ドライバーの[用紙/出力]タブで指定しても反映されません。<br>→ 使用するアプリケーションによっては、アプリケーションで設定した値が優先されます。 |

## エラーメッセージが表示されたら

テレビ出力モードでは、テレビ画面に次のようなエラーメッセージが表示されることがあります。以下に従って対処してください。

### プリンター本体

| エラーメッセージ | 意味／処置 |
| --- | --- |
| **プリンターにエラーが発生しました。電源を入れ直して再度実行してください。** | ● 本機に何らかのエラーが発生しました。電源をいったん切り、再度入れてから操作してください。(何度もこのエラーが表示される場合はソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。) |

### 記録メディア関連

| エラーメッセージ | 意味／処置 |
| --- | --- |
| **メモリースティック／コンパクトフラッシュ／SDカード／外部機器がありません。** | ● "メモリースティック"、コンパクトフラッシュ、またはSDカードがそれぞれのスロットに入っていません。または外部機器がPictBridge/CAMERA端子に接続されていません。メモリーカードをそれぞれのスロットに入れてください。または、外部機器を接続してください。 |
| **メモリースティックは保護されています。** | ● 保護されている"メモリースティック"が挿入されています。画像の編集、保存を行う場合は、保護を解除してください。 |
| **非対応のメモリースティック／コンパクトフラッシュ／SDカード／外部機器です。** | ● 非対応の"メモリースティック"、コンパクトフラッシュ、またはSDカードが挿入されています。または、PictBridge/CAMERA端子に非対応の外部機器が接続されました。本機本機に対応しているメモリーカードまたは外部機器をお使いください。 |
| **画像ファイルがありません。** | ● メモリーカードまたは外部機器内に画像ファイルがありません。本機で表示できる画像ファイルの入ったメモリーカードまたは外部機器をお使いください。 |
| **DPOF設定ファイルがありません。** | ● DPOF設定された画像がありません。お使いのデジタルカメラでDPOF設定を行ってください。 |
| **プロテクトファイルは削除できません。** | ● プロテクトファイルは削除するには、お使いのデジタルカメラでプロテクト設定を解除してください。 |
| **DPOFファイルは削除できません。** | ● DPOFファイルは削除するには、お使いのデジタルカメラでDPOF設定を解除してください。 |
| **プロテクトされています。プロテクトを解除して、もう一度削除を実行してください。** | ● "メモリースティック"が書込み禁止になっています。誤消去防止スイッチを解除してください。(➡96ページ) |
| **プロテクトされています。プロテクトを解除して、もう一度初期化を実行してください。** | |
| **プロテクトされています。プロテクトを解除して、もう一度保存を実行してください。** | |

| エラーメッセージ | 意味／処置 |
|---|---|
| **メモリースティック／コンパクトフラッシュ／SDカードが一杯です。** | ● "メモリースティック"、コンパクトフラッシュ、SDカード、または外部機器の容量が一杯のため、追加保存できません。画像を消去するか、容量のあるメモリーカードまたは外部機器をお使いください。 |
| **メモリースティック／コンパクトフラッシュ／SDカード／外部機器にエラーがあります。** | ● 何らかのエラーが発生しています。何度もこのエラーが表示される場合は、本機以外の機器でも"メモリースティック"またはコンパクトフラッシュの状態をご確認ください。 |
| **メモリースティック／コンパクトフラッシュ／SDカード／外部機器からの読み取り/書き込みエラーです。** | |
| **メモリースティックの初期化エラーです。** | |

## プリントカートリッジ

| エラーメッセージ | 意味／処置 |
|---|---|
| **プリントカートリッジがありません。このまま引きつづいてプリントする場合はプリントカートリッジをセットして、再度[プリント]を押してください。** | ● プリントカートリッジを入れてください。「○○サイズ」と表示されている場合は、表示サイズのプリントカートリッジを入れてください。「クリーニング」と表示されている場合は、クリーニング用のプリントカートリッジを入れてください。（→94ページ） |
| **プリントカートリッジがありません。このまま引きつづいてプリントする場合は「○○サイズ」のプリントカートリッジをセットして、再度[プリント]を押してください。** | |
| **プリントカートリッジが終了しました。このまま引きつづいてプリントする場合は新しいプリントカートリッジをセットして、再度[プリント]を押してください。** | ● 新しいプリントカートリッジを入れてください。「○○サイズ」と表示されている場合は、表示サイズのプリントカートリッジを入れてください。 |
| **プリントカートリッジが終了しました。このまま引きつづいてプリントする場合は「○○サイズ」のプリントカートリッジをセットして再度[プリント]を押してください。** | |
| **プリントカートリッジが正しくありません。このまま引きつづいてプリントする場合は「○○サイズ」プリントカートリッジをセットして、再度[プリント]を押してください。** | ● クリエイティブプリントで設定したプリントサイズと本機に入っているプリントカートリッジのサイズが合っていません。表示されているサイズのプリントカートリッジとプリントペーパーを入れてください。 |

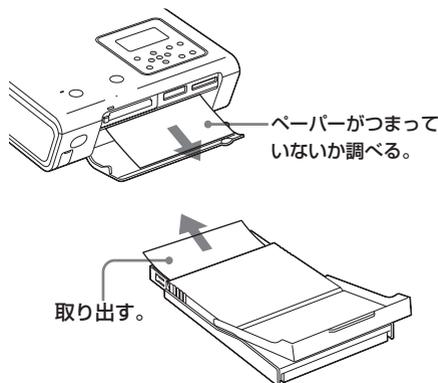
### プリントペーパー

| エラーメッセージ | 意味／処置 |
|---|---|
| **プリントペーパーがありません。<br>このまま引きつづいてプリントする場合はプリントペーパーをセットしなおしてから再度[プリント]を押してください。** | • 次のいずれかが考えられます。<br>– ペーパートレイが入っていません。<br>– プリントペーパーがペーパートレイにありません。<br>– プリントペーパーが終了しました。<br>プリントペーパーをトレイに入れてください。「○○サイズ」と表示されている場合は、表示サイズのプリントペーパーをトレイに入れて入れてください。 |
| **プリントペーパーがありません。<br>このまま引きつづいてプリントする場合は「○○サイズ」のプリントペーパーをセットして、再度[プリント]を押してください。** | |
| **クリーニングシートがありません。<br>このまま引きつづいてクリーニングする場合はクリーニングシートをセットして、再度[プリント]を押してください。** | • クリーニングシートがペーパートレイに入っていません。クリーニングシートをトレイに入れてください。 |
| **プリントペーパーが違います。<br>このまま引きつづいてプリントする場合は「○○サイズ」のプリントペーパーをセットして、再度[プリント]を押してください。** | • 本機に入っているプリントカートリッジのサイズと、プリントペーパーのサイズが合っていません。本機に入っているプリントカートリッジのサイズを確認のうえ、同じサイズのプリントペーパーを入れてください。 |
| **紙づまりです。<br>プリントペーパーを取り除いてください。** | • プリントペーパーがつまっています。下記の「プリントペーパーがつまったら」の手順に従ってプリントペーパーを取り除いてください。 |

## プリントペーパーがつまったら

プリントペーパーがつまると、表示部にペーパー/カートリッジエラー表示（/）が点滅し、エラーメッセージが表示され、プリントできなくなります。
電源をいったん切ってから再度入れ、ペーパートレイを抜き、給紙口（排紙口）にプリントペーパーがつまっていないか確認し、プリントペーパーを取り除いてください。
取り除けない場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

**ご注意**

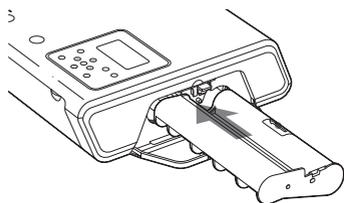
プリントペーパーを取り出せない場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

# 本機内部のクリーニングをする

プリント上に白いスジや周期的に点状のキズが入るようになった場合は、同梱されているクリーニングカートリッジとお試しプリントパックに入っている保護シートを使い、内部のクリーニングを行ってください。

**ちょっと一言**

別売のプリントパックに入っている保護シートもご使用になれます。

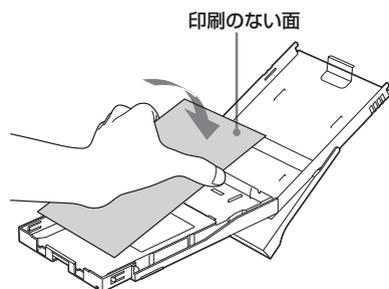
**1** **カートリッジカバーを開け、印刷用のプリントカートリッジが入っている場合には、プリントカートリッジを取り出す。**（16ページ）

**2** **付属のクリーニングカートリッジを入れ、カートリッジドアを閉める。**

**3** **ペーパートレイを抜き、印刷用のプリントペーパーが入っている場合はすべて取り出す。**

**4** **使用する保護シートのサイズに合わせて、トレイアダプターの着脱をする。**（18ページ）

**ちょっと一言**

クリーニングにはポストカードサイズの保護シートの使用をお勧めします。

**5** **同梱されているプリントパックに入っていた保護シートを印刷のない面を上にして、トレイにセットする。**

**6** **ペーパートレイを本機にセットし、プリントボタンを押す。**

クリーニングカートリッジと保護シートが本機内部をクリーニングします。クリーニングが終わると保護シートがペーパートレイに排紙されます。

**7** **クリーニングカートリッジと保護シートを取り外す。**

**ちょっと一言**

- クリーニングカートリッジと保護シートはいっしょに保存してください。
- 保護シート1枚で最大20回ほどクリーニングが可能です。

### クリーニングが終わったら

印刷用のプリントカートリッジとプリントペーパーを入れます。

**ご注意**

- 印刷結果に白いスジや周期的に点状のキズが現れた時のみクリーニングを行ってください。
- 正常なプリント結果が得られる状態で、クリーニングを行っても、プリント画質が向上することはありません。
- 保護シートでのクリーニング回数は最大20回を目安としてください。ご使用回数が増えるにしたがい、保護シートのクリーニング効果が薄れます。
- 印刷用のプリントペーパーの上に保護シートを重ねて使用しないでください。紙づまりなどの原因になります。
- 一度では、クリーニング効果が得られない場合があります。その場合は、2、3度クリーニングすることをおすすめします。

# 使用上のご注意

## 設置上のご注意

- 水平な場所に置いてください。
- ぶつけたり、落としたりしないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  －不安定なところ
  －ほこりの多いところ
  －極端に寒いところや暑いところ
  －振動の多いところ
  －湿気の多いところ
  －直射日光の当たるところ
- 本体の通風口をふさがないようにご注意ください。故障の原因となります。

### ACアダプターについてのご注意

- 本機に付属のACアダプターをご使用ください。本機に付属している以外のACアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
- 本機に付属のACアダプターは本機以外の機器に使用しないで下さい。
- ACアダプターを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したACアダプターは危険ですので、そのまま使用しないでください。

### 結露について

本機を温度の低い場所から暖かい場所に移動したり、暖房で湯気や湿気がたちこめた部屋に置くと、本機の内部に水滴のつくことがあります。これを結露といいます。この状態で本機を使用すると、正常に動かないばかりでなく、故障の原因となります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。

### 引っ越しなどで輸送する場合は

輸送する場合は、プリントカートリッジ、ペーパートレイ、メモリーカード、外部機器、ACアダプターを本体から取り外し、本機が梱包されていた梱包材および梱包箱に入れてください。これらがない場合は、輸送中の衝撃に耐えるように梱包してください。

## お手入れ

本体の汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかたくしぼってから、汚れをふきとってください。シンナーやベンジン、アルコールなどは、表面の仕上げをいためることがありますので、使用しないでください。

## 複製の禁止事項

本製品を使用して模造または複製する場合には、次の点に十分注意してください。

- 紙幣、貨幣、有価証券などの複製は禁止されており、処罰の対象となります。
- 各種の証明書、免許証、旅券、民間発行の有価証券、未使用の郵便切手などの複製は禁止されており、処罰の対象となります。
- 他人の著作権の目的となっている絵画、写真、書籍などは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

# "メモリースティック"について

## "メモリースティック"とは？

"メモリースティック"は、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。"メモリースティック"対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの1つとしてデータの保存にもお使いいただけます。

## "メモリースティック"の種類

"メモリースティック"には用途に応じて以下の種類があります。

- **"メモリースティック PRO"**: "メモリースティック PRO"対応機器でのみお使いいただける、著作権保護技術（"マジックゲート"）を搭載した"メモリースティック"です。
- **"メモリースティック"**: 著作権保護技術（"マジックゲート"）が必要なデータ以外の、あらゆるデータを記録できる"メモリースティック"です。
- **"メモリースティック"（マジックゲート/高速データ転送対応）**
  著作権保護技術（マジックゲート）を搭載し、高速データ転送に対応した"メモリースティック"です。すべての"メモリースティック"対応機器でお使いいただけます。（転送速度はお使いの"メモリースティック"対応機器により異なります。）
- **"マジックゲート メモリースティック"**: 著作権保護技術（"マジックゲート"）を搭載した"メモリースティック"です。
- **"メモリースティック-ROM"**:あらかじめデータが記録されている、読み出し専用の"メモリースティック"です。データの記録や消去はできません。
- **"メモリースティック"（メモリーセレクト機能付き）**:内部に複数のメモリー（128MB)を搭載している"メモリースティック"です。本体裏面のメモリーセレクトスイッチにより、用途に応じてご使用になるメモリーを選択できます。各メモリーを同時に、また連続でご使用になることはできません。

**"メモリースティック デュオ"について**

"メモリースティック"には、標準サイズのものとその小型サイズの"メモリースティック デュオ"があります。"メモリースティック デュオ"をメモリースティック デュオ アダプターに入れると、標準サイズの"メモリースティック"と同じサイズになり、標準サイズの"メモリースティック"対応機器でもお使いいただけます。

- ご使用の際は、正しい挿入方向をご確認の上お使いください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。

## 本機でお使いになれる"メモリースティック"

本機では以下の"メモリースティック"をご使用になれます。

| | 読み | 記録/削除/初期化 |
|---|---|---|
| "メモリースティック"/"メモリースティック"（メモリーセレクト機能付き）/"メモリースティック デュオ" | ○ | ○ |
| "メモリースティック"（マジックゲート/高速データ転送対応）/"メモリースティック デュオ"（マジックゲート/高速データ転送対応） | ○*1*2 | ○*1*2 |
| "マジックゲート メモリースティック"/"マジックゲート "メモリースティック デュオ" | ○*1 | ○*1 |
| "メモリースティック PRO" "メモリースティック PRO デュオ" | ○*1*2 | ○*1*2 |
| "メモリースティック-ROM" | ○ | – |

*1 著作権保護技術("マジックゲート")が必要なデータの読み込み、記録はできません。
*2 パラレルインターフェースを利用した高速データ転送には対応しておりません。

すべての"メモリースティック"メディアの動作を保証するものではありません。

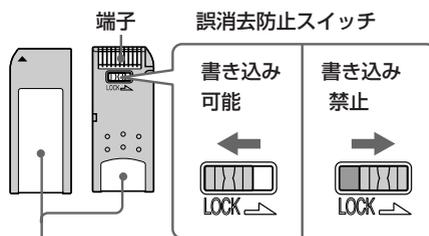
**データ読み込み／書き込みスピードについて**

お使いの"メモリースティック"と機器の組み合わせによっては、データの読み込み／書き込み速度が異なります。

**"マジックゲート"とは**

"マジックゲート"は、"メモリースティック"と機器の両方に搭載されている場合に働く、著作権保護技術です。"マジックゲート"を搭載した機器と"メモリースティック"の間で、お互いに「"マジックゲート"に対応しているか」を確認する認証と、データの暗号化を行います。本機は"マジックゲート"を搭載していないため、"マジックゲート"が必要なデータの記録や再生はできません。

## 使用上のご注意

- データの読み込み中、書き込み中には"メモリースティック"を取り出さないでください。
- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができなくなります。

- "メモリースティック デュオ"の誤消去防止スイッチを動かす時は、先の細いもので動かしてください。
- 以下の場合、データが破壊することがあります。
  - 読み込み中、書き込み中に"メモリースティック"を取り出したり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。また、ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部にはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- "メモリースティック"を初期化するときは、本機またはご使用になっているデジタルカメラで初期化してください。パソコンでフォーマットした場合、正常に画像が表示されないことがあります。

# コンパクトフラッシュカード/SDカードについて

本機は、コンパクトフラッシュカードスロットで、CompactFlash Storage Card（Type I/Type II）またはCF+ Card（Type I/Type II）準拠のコンパクトフラッシュストレージカード、SDカードスロットで、SDメモリーカード、MMC規格メモリーカードをご使用になれます。
また、コンパクトフラッシュカードスロットでは、市販のコンパクトフラッシュカードアダプターをお使いになることにより、デジタルカメラなどで使用されているxD-ピクチャーカード、またはスマートメディアカードもご使用になれます。
すべてのカードメディアの動作を保証するものではありません。

## 使用上のご注意

- コンパクトフラッシュカードは、電源仕様が5Vまたは3.3/5Vのものをお使いください。3V（3.3V以下）専用のタイプはお使いになれません。指定以外のカードを無理にお使いになると、本機の故障の原因となります。
- コンパクトフラッシュアダプターによっては、メモリーカードのライトプロテクトをすると正しく動作しない場合があります。
- 著作権保護技術が必要なデータの読み込み、記録はできません。（SDカード）
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- コンパクトフラッシュカード/SDカードは湿気に弱いため、湿度の高い場所ではお使いにならないようおすすめいたします。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。

－高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所

－直射日光のあたる場所

－湿気の多い場所や腐食性のある場所

－静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所

- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- データの読み込み、書き込み中、アクセスランプが点滅中に、コンパクトフラッシュカード/SDカードを抜かないでください。または電源を切らないでください。データが消えたり壊れたりすることがあります。
- xD-ピクチャーカード、またはスマートメディアカードをお使いになる場合は、市販のコンパクトフラッシュカードアダプターをお使いください。

  コンパクトフラッシュカードアダプターへの取り付け方法、使用方法については、お使いのコンパクトフラッシュカードアダプターの取扱説明書をご覧ください。
- コンパクトフラッシュカードアダプターを本機に取り付けた状態で、xD-ピクチャーカード、またはスマートメディアカードの抜き差しをしないでください。xD-ピクチャーカード、またはスマートメディアカード内のデータが消えたり壊れたりすることがあります。

# 主な仕様

## ■ 本体

**プリント方式**
昇華型熱転写方式YMC3色重ね

**プリント解像度**
300 dpi x 300 dpi

**画像処理**
YMC各8ビット（256階調）、約1677万色

**プリントサイズ**
ポストカードサイズ：
101.6 x 152.4 mm（最大、フチ無し）
Lサイズ：
89 x 127 mm（最大、フチ無し）

**プリント時間（1枚）**
ポストカードサイズ：約67秒
Lサイズ：約57秒
（本機のスロットに挿入したメモリーカードからのプリント時、データ転送時間とデータ処理時間を除く）

**入出力端子**
USB端子（1）
PictBridge/CAMERA端子（1）
映像出力（ピンジャック）（1）
1Vp-p、75Ω（不平衡）、同期負
"メモリースティック"スロット（1）
コンパクトフラッシュカードスロット（1）
SDカードスロット(1)

**対応可能なファイルフォーマット**[*1]
JPEG:DCF[*2] 2.0準拠、Exif[*3] 2.21準拠
JFIF ( 4:4:4、4:2:2、4:2:0形式のベースラインJPEG)
TIFF: Exif 2.21準拠
BMP: 24ビットWindows形式

**扱える最大画素数**
6,400 x 4,800ドット
(インデックスとクリエイティブプリントの一部除く）

**扱える最大画像ファイル数**
メモリーカード 1枚/外部機器1台につき9,999枚

**使用プリントカートリッジ／プリントペーパー**
「プリントパックを用意する」（15ページ）参照

**電源**
DC IN端子入力、DC24V
（スタンバイ時、1W以下）

**動作温度**
5˚C〜35˚C

**外形寸法**
182× 66 ×210mm（幅／高さ／奥行き）（突起部を含まず）（ペーパートレイ取り付け時の奥行き：360 mm）

**質量**
約 1,200 g（ペーパートレイ約165 g含まず）

**付属品**
「付属品を確認する」（15ページ）参照

## ■ ACアダプター AC-S24V1

**定格入力**
AC100-240V、50/60Hz、1.6-0.7A

**定格出力**
DC24V、2.5A

**動作温度**
5℃〜35℃

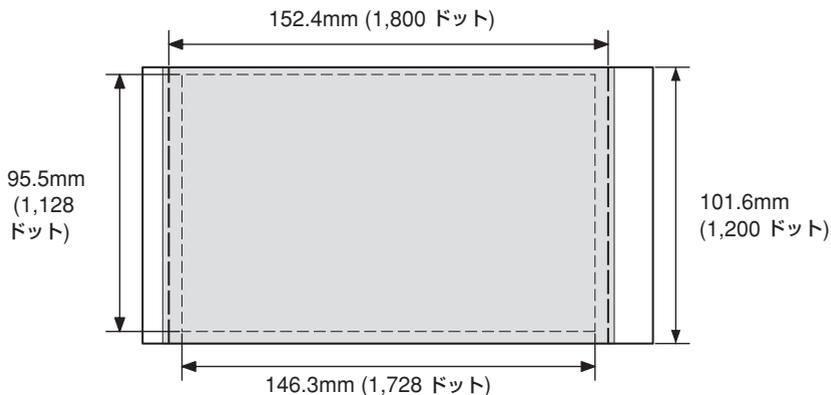
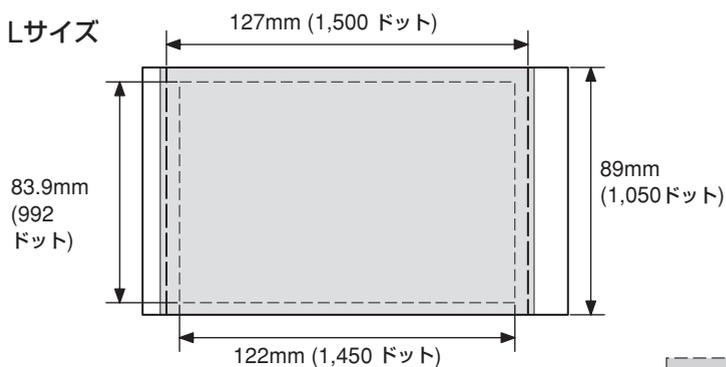
**外形寸法**
60 x 30 x 130 mm
（幅／高さ／奥行き）（突起部を含まず）

**質量**
約 270 g

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

*1:特殊な形式の場合、対応できないことがあります。
*2:「DCF」は、「Design rule for Camera File system」の略称です。
*3:「Exif」は、画像データ以外に、表示用画像、撮影日の他、撮影情報を加えた画像ファイルのフォーマットです。

## 印刷範囲

### ポストカードサイズ

### Lサイズ

上の図は縦横比が2：3の画像の場合の印刷範囲と余白を示しています。印画範囲は、フチ無し、ふち有りプリントによって異なります。ふち有プリントの場合、余白のサイズはプリントする画像の縦横比によって異なります。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項に記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

### それでも具合が悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口、お客様ご相談センターへご相談ください。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

### 部品の保有期間について

当社では、デジタルフォトプリンターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：DPP-FP50
- 故障の状態：できるだけくわしく
- お買い上げ年月日
- パソコンをご使用の場合はパソコンの環境:
  –ご使用パソコンの機種名
  –メモリー容量
  –ハードディスクなどの容量
  –プリンタードライバーのバージョン

# 用語集

**オートファインプリント 3**

より鮮明で美しい画質でプリントするために、自動的に画像を補正してプリントする機能です。全体的に暗い画像やコントラストのない画像をプリントする場合に特に有効で、更に肌色や草木の緑、空の青さもより自然に、より鮮やかに補正します。

**DCF（ディー シー エフ）**

デジタルカメラや、プリンターなどの機器相互間の互換性を取る為に社団法人電子情報技術産業協会（JEITA)で制定された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

**DPOF（ディーポフ）**

デジタルカメラで撮影した画像をラボプリントショップや家庭用のプリンターで自動プリントするための情報を記録するフォーマットで、「Digital Print Order Format」の略称です。本機は、デジタルカメラで作成されたDPOFによるプリント予約および枚数予約に従って自動プリントを行うことができます。

**Exif 2.21（Exif Print）（イグジフ2.21（イグジフプリント））**

デジタルフォトプリントの世界標準規格です。Exif Printに対応したデジタルカメラでは、撮影条件に関する情報が画像データ タと共に記録されます。本機はExif Printに対応しており、記録された画像の撮影条件を読み取ることで、自動的に撮影意図をより忠実に反映した高品位なプリントができます[*1]。

*1: オートファインプリント機能を有効に設定している場合で、デジタルカメラでExif2.21規格にそって撮影された画像（JPEGファイル）は、自動的に最適な画像に調整されてプリントされます。

**"メモリースティック"／コンパクトフラッシュカード/SDカード**

小型の記録メディアです。詳しくは、96～98ページをご覧ください。

**PictBridge（ピクトブリッジ）**

カメラ映像機器工業会（CIPA)で制定された統一規格のことです。PictBridge規格対応デジタルカメラと本機を接続して、デジタルカメラの画像ファイルをプリントすることができます。

**予測入力（POBox）機能**

入力した文字から予測される単語を一覧表示したり、一覧表示から選んだ単語から文脈を予測していく機能です。さらに、よく使う単語も学習しますので、入力する回数が減り便利です。

# 索引

## アルファベット順



## 五十音順

# 索引（つづき）



## お問い合わせ窓口のご案内

**デジタルフォトプリンターホームページ**

デジタルフォトプリンターの商品やサポートの最新情報をご案内するホームページです。

http://www.sony.co.jp/DPP/

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

- ナビダイヤル.................. 0570-00-3311
  （全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
- 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311
- Fax ...................................... 0466-31-2595

受付時間：
月～金
9:00～20:00
土・日・祝日
9:00～17:00

http://www.sony.co.jp/　　Printed in China